

北海道志

二十四

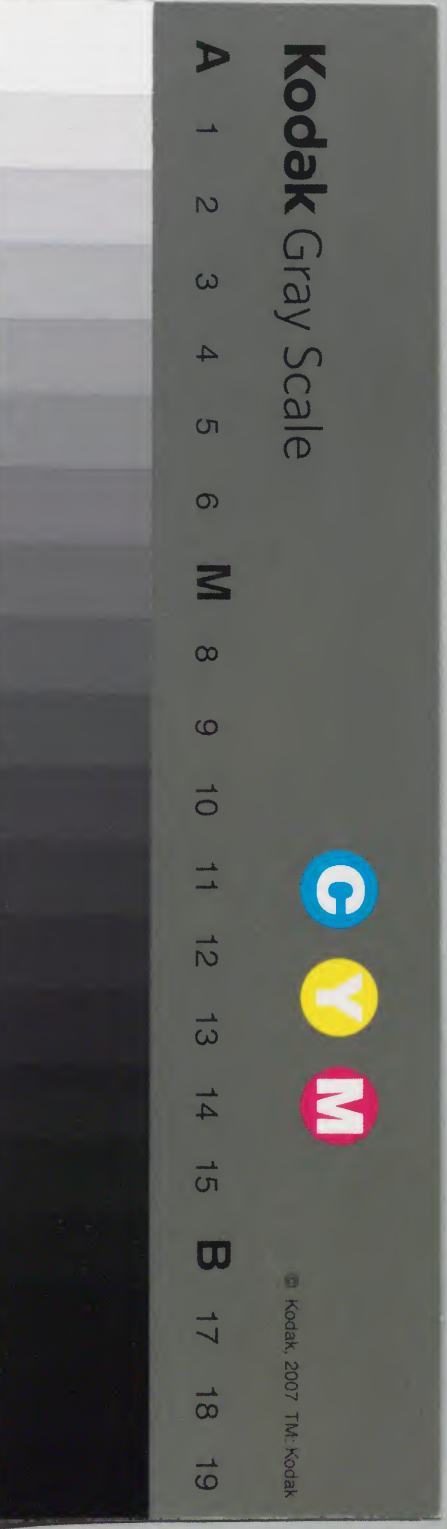
卷三十四
物産

和一八二五號

庫	文	閣	内
二七二函	一四〇	二〇〇	和
一六架	二五四	冊	書
		冊	類

内閣文庫	
番號	和 14004
冊數	25 (24)
函號	271 297

和一八二五號



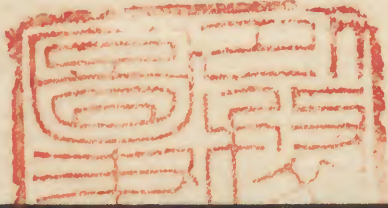
北海道志卷之三十四

物産

北地風氣異リト雖モ覆載ノ下生々息マズ飛潜動植森羅萬
 象古來彙而輯ル者東夷物産志ノ如キ蝦夷草木志料ノ如キ
 松前志ノ如キ其書亦多矣而テ旁博引證其說未タ迂遠怪僻
 ナ免レヌ今其實ヲ擇ミ此土特ニ産スル所及ヒ人民日用ニ
 關スル者ハ畧注釋ヲ加ヘ他ノ郡邑公共ノ物ハ唯其名ヲ舉
 ク其書別ニ備ルヲ以テナリ若夫郡邑移ス所ノ物及ヒ外洋
 ノ物ト土ニ適シテ常産タル者ハ編シテ遺サス且其部門ヲ
 建ルニ洋式ニ據リ物産ヲ志ス

動物

獸之部



蝙蝠 「カハホリ」ニ種アリ耳長キ者ヲ長耳蝙蝠ト爲シ
口上ノ膜馬蹄ニ似タル者ヲ馬蹄蝙蝠ト爲ス
鼯鼠 「チゾミ」ハ形

タ小ナリ多ク水邊ニ居リ小蟲ヲ食フ
鼯鼠 「アカクマ」方言「クマ」ノ形較大ニシテ甚タ猛悍ナリ咽

下月輪ナク毛色一ナラス茶褐色ノ者多シ深林ノ中ニ棲ミ牛馬ヲ負ヒ

人立シテ走ル甚タ迅速能ク木ニ攀リ水ヲ渉ル土人ハ毒箭或ハ彈丸ヲ

以テ之ヲ射リ又其穴口ニ柵ヲ設ケテ刺殺ス若シ其子ヲ捕フレハ婦人

ノ乳汁ヲ以テ之ヲ養ヒ其長スルニ及ンテ祭ヲ設テ之ヲ殺ス所謂「クマ

ヲクリ」ナリ而後其肉ヲ食ヒ皮ヲ衣ル其膽ヲ「ニシ」ト稱シ藥用ニ供ス

凡ソ熊ヲ捕フル四季ニ拘ハラスト雖モ其膽ハ十月ヨリ二月ニ至ル迄

ノ最良ト爲ス都テ熊ハ秋ニ至レハ好シテ食ヒ冬ニ至レハ糞ヲ食フ

ノ果實ヲ採リ又流ニ遊ル所ノ鮭ヲ捕リ食ヒ冬ニ至レハ糞ヲ食フ

「ソ」方言「シロイ」チ「土」言「シヤチ」東蝦夷地處々ニアリ形黝

ニ似テ小ナリ其毛色ハ純白ニシテ夏ハ濃茶褐色ニ變ス

「ス」其形黝ニ類シ毛色黃ニシテ柔長ナ

リ深山ニ産シ樹木ニ攀ル大ニ尺餘

故ニ養魚ニ害アリ毛皮甚タ美

サシ毛ヲ拭キ去テ衣服ニ用フ

ヲ産シ常ニ巖上ニ遊ヒ小魚ヲ食フ其體圓長ニシテ恰モ竹筒ノ如シ四

足短縮ニシテ蹠アリ故ニ其皮方ニシテ長ク毛色諸黒ニシテ光澤アリ

老者ハ白毛ヲ生ス皮最モ

美ニシテ價ヒ甚タ貴シ

獵ニ用フ樺太ニテハ數頭ヲ獲キ雪車ヲ

曳カシメ其毛皮ハ防寒ノ要具トナス

狗 「イヌ」土言「シエタ」其種類内地ノ産ト異ナリ

狀毛色較豺ニ類ス土人多ク之ヲ畜ヒ獸

狽ニ用フ樺太ニテハ數頭ヲ獲キ雪車ヲ

曳カシメ其毛皮ハ防寒ノ要具トナス

狽 「ヤマノイヌ」方言「オ、イヌ」土

言「オ、イヌ」形犬ニ似テ

甚タ大ナリ毛色多ク淡茶褐ニシテ黒毛ヲ

雜ヘ老者ハ灰色ニ變シ甚タ家畜ヲ害ス

狐 「キツ子」土言「チロヌ」内地

ノ産ト異ナル「チ」ナシ又斑

狐黒狐(土)言クン子チロヌ赤(土)言アシチロヌ)白狐等アリ皆毛色ニ依テ

之ヲ名ク斑狐ハ色狸ニ似テ背上黒ク十字ヲ成ス黒狐ハ多ク志古丹島

ニ産シ毛皮深黒ニシテ光澤アリ又赤狐ハ色較赤

ク白狐ハ純白ニシテ毛長シ此ニ種ハ甚タ稀ナリ

赤色ナリ頭ヨリ尾ニ至リ一條ノ黒帶アリテ甚タ斑狐ニ類ス其

毛稠密ニシテ柔ナリ故ニ毛衣ニ製スヘシ土人ハ以テ褥ト爲ス

獸 「オットセイ」土言「オチウ」形海豹ニ似テ三尺ヨリ五六尺ニ至リ全身青

黒色ニシテ灰色ノ毛ヲ雜ヘ頭大ニシテ圓ク他ノ海獸ニ比スレハ目

甚タ大ナリ性眠ヲ好ミ群ヲナシテ浮眠シ其中一頭眠ラス船來ルアレ

バ呼テ群眠ヲ驚覺ス之ヲ捕ル者其浮眠スルヲ窺ヒ急ニ狐尾ヲ振テ眠

サル者見テ驚愕シ一聲ヲ放タスシテ

逃ル則チ弓或ハ銃鎗ヲ以テ之ヲ捕フ

毛短ク赤黒色ニシテ耳小ク黝黒シ其大ナル者一丈餘其背ハ燈火ニ用

フヘシ其肉ハ鯨ニ優レリ其皮ヲ細斷シテ以テ繩ニ代フヘク又履ニ製

シ以テ寒氣ヲ防クヘシ

海豹

「アザラシ」土言「ソカリ」大サ五六尺ニシテ頭圓ク體長

ヲ防クヘシ

毛灰白色又全體黒色約紋明白ナルモノアリ或ハ全

身大文字ノ文理アル者アリ多ク天鹽海邊ニ産ス

シ「ベ」形海驢ニ似テ大ナリ上唇ニ二大牙アリ直垂ス其色潔白ニ

シテ象牙ノ如シ故ニ水象牙ト名ク彫刻以テ器物ニ製スヘシ

鼯鼠

「モ、シガ」栗鼠ノ一種ニシテ肉翅アリ四足及ヒ尾ヲ連

接シ常ニ腹部ヲ裏ム樹梢ヲ移ルニ肉翅ヲ張テ飛フ

海馬

「セイウチ」土

言「シカイ」

身大文字ノ文理アル者アリ多ク天鹽海邊ニ産ス

シ「ベ」形海驢ニ似テ大ナリ上唇ニ二大牙アリ直垂ス其色潔白ニ

シテ象牙ノ如シ故ニ水象牙ト名ク彫刻以テ器物ニ製スヘシ

栗鼠

「モ、シガ」栗鼠ノ一種ニシテ肉翅アリ四足及ヒ尾ヲ連

接シ常ニ腹部ヲ裏ム樹梢ヲ移ルニ肉翅ヲ張テ飛フ

海驢

「アザラシ」土言「ソカリ」大サ五六尺ニシテ頭圓ク體長

ヲ防クヘシ

毛灰白色又全體黒色約紋明白ナルモノアリ或ハ全

身大文字ノ文理アル者アリ多ク天鹽海邊ニ産ス

シ「ベ」形海驢ニ似テ大ナリ上唇ニ二大牙アリ直垂ス其色潔白ニ

シテ象牙ノ如シ故ニ水象牙ト名ク彫刻以テ器物ニ製スヘシ

銀鼠

「チゾミ」ハ形

口上ノ膜馬蹄ニ似タル者ヲ馬蹄蝙蝠ト爲ス

鼯鼠 「アカクマ」方言「クマ」ノ形較大ニシテ甚タ猛悍ナリ咽

タ小ナリ多ク水邊ニ居リ小蟲ヲ食フ

鼯鼠 「オチウ」形海豹ニ似テ三尺ヨリ五六尺ニ至リ全身青

黒色ニシテ灰色ノ毛ヲ雜ヘ頭大ニシテ圓ク他ノ海獸ニ比スレハ目

黃鼬

「チン」土

言「ホイ

ノ最良ト爲ス都テ熊ハ秋ニ至レハ好シテ食ヒ冬ニ至レハ糞ヲ食フ

ノ果實ヲ採リ又流ニ遊ル所ノ鮭ヲ捕リ食ヒ冬ニ至レハ糞ヲ食フ

「ソ」方言「シロイ」チ「土」言「シヤチ」東蝦夷地處々ニアリ形黝

ニ似テ小ナリ其毛色ハ純白ニシテ夏ハ濃茶褐色ニ變ス

水獺

「ラッコ」土言「ヌマツイ」擇捉近海

ニ産シ三四月ノ頃海岸ニ來リ子

故ニ養魚ニ害アリ毛皮甚タ美

サシ毛ヲ拭キ去テ衣服ニ用フ

ヲ産シ常ニ巖上ニ遊ヒ小魚ヲ食フ其體圓長ニシテ恰モ竹筒ノ如シ四

足短縮ニシテ蹠アリ故ニ其皮方ニシテ長ク毛色諸黒ニシテ光澤アリ

狗

「イヌ」土言「シエタ」其種類内地ノ産ト異ナリ

狀毛色較豺ニ類ス土人多ク之ヲ畜ヒ獸

狽ニ用フ樺太ニテハ數頭ヲ獲キ雪車ヲ

曳カシメ其毛皮ハ防寒ノ要具トナス

狽 「ヤマノイヌ」方言「オ、イヌ」土

言「オ、イヌ」形犬ニ似テ

鼯鼠

「チゾミ」ハ形

口上ノ膜馬蹄ニ似タル者ヲ馬蹄蝙蝠ト爲ス

鼯鼠 「アカクマ」方言「クマ」ノ形較大ニシテ甚タ猛悍ナリ咽

タ小ナリ多ク水邊ニ居リ小蟲ヲ食フ

鼯鼠 「オチウ」形海豹ニ似テ三尺ヨリ五六尺ニ至リ全身青

黒色ニシテ灰色ノ毛ヲ雜ヘ頭大ニシテ圓ク他ノ海獸ニ比スレハ目

栗鼠

「モ、シガ」栗鼠ノ一種ニシテ肉翅アリ四足及ヒ尾ヲ連

接シ常ニ腹部ヲ裏ム樹梢ヲ移ルニ肉翅ヲ張テ飛フ

鼯鼠 「アカクマ」方言「クマ」ノ形較大ニシテ甚タ猛悍ナリ咽

タ小ナリ多ク水邊ニ居リ小蟲ヲ食フ

鼯鼠 「オチウ」形海豹ニ似テ三尺ヨリ五六尺ニ至リ全身青

黒色ニシテ灰色ノ毛ヲ雜ヘ頭大ニシテ圓ク他ノ海獸ニ比スレハ目

木鳥ノ一種ニシテ大サ殆ント鴉ノ如ク全身黒クシテ頭部紅ナリ嘴長クシテ直シ木皮ヲ啄キテ蟲ヲ出シ舌ヲ以テ刺シ食フ舌ハ甚タ長ク端ニ鉤アリ常ニ粘波ヲ貯ヘ以テ蟲ヲ捕フニ便ナラシム又脚指ハ前ニ二指後ニ二指アリテ皆剛爪アリ以テ能ク樹ニ上ル

「オホアカゲラ」啄木鳥ノ一種ニシテ鴨ヨリ較小ナリ翼黒ク白斑アリ頭紅胸及尾皆白腹黄赤色其性黒鷺ニ同シ

鷺ヨリ較小ナリ形状及ヒ羽毛異ナルヲナシ唯尾上白色ナシ

鷺「ヤマゲラ」他邦ノ「アホゲラ」ニ甚似タリ頂紅背緑ニシテ腹灰色翅黒綠色ニシテ白アリ

鳥ニ似テ嘴ハ較細ク雀ヨリ較大ニシテ羽毛茶褐黒白ノ細紋アリ

キツバメ 燕ノ一種ニシテ頰赤ク尾上及ヒ腹白シ多ク海岸巖石ノ間ニ棲ム

通常ノ燕ノ如ク全身淺黒色ナリ多ク河崖ニ穴居ス

如シ全身黒色美麗ニシテ咽及ヒ尾木白シ曇天多ク飛行ス故ニ此名アリ

ク廣シ嘴縁ニ硬毛アリ全才羽毛柔ニシテ鼻ノ如ク薄暮飛行シテ飛蟲ヲ食フ

シテ頭背灰色翅黒ク腹黄ナリ尾長クシテ黒白雜毛アリ歩行常ニ搖ク水邊ニ在リテ小蟲ヲ食フ

言「バカチリ」形黄鶺鴒ニ異ナラスシテ較大ナリ頭頸及ヒ背ハ黒色翅尾黒白ヲ雜ヘ腹白シ

カツトリ形雀ヨリ較小頭背青灰色ニシテ翅尾黒ク腿脚及ヒ腹白色ニシテ眼傍ニ黒條アリ嘴尖ニシテ力アリ樹上ヲ走り小蟲ヲ啄ム

「ウグヒス」土言「ボケチニ」

鷓鴣「ミソサ」伯勞「モ」ノゴマ 鷓ニ似テ全身茶褐色

タキ 黄鶺鴒「キビ」小燕「コツバメ」形黄鶺鴒ニ似テ東南シテ美ナリ腿黒ク腹白シ

十二紅 「ヒレン」シヤク頭ニ毛冠アリ全身茶褐色目邊黒色ヲ帶ヒ尾黒クシテ唯尾端「ツグミ」秋末多來ル

黄色ナリ 鶺鴒 其種類甚タ多シ

色ヲ帶フ冬日來リ河邊ニ居リ善ク水ニ没ス

白鳩鳥「シヅウカラ」土言「フクサチリ」

ナガ 方言「エナガ」他ノ産ト大同小異ニシテ小陵鳥ヨリ較小ナリ頭白ク尾長シ好シテ水松ノ實ヲ啄ム

畫眉鳥「ホ」蒿雀「ア」交嘴「カ」雀「ア」黄雀「ニ」

イコチ雄ハ頭甚赤ク咽ニ雀ノ如キ黒毛ナシ雌ハ形較細ク頭茶褐色ニシテ淡褐色ノ肩アリ多ク海岸ニ産ス

拙老婆「ウ」カワラヒワ 金翅雀「ロ」花鷄「ア」魚狗「カ」

ヤマセウビン 一名「ミズコロドリ」方言「ナンパン」テウ形魚狗ニ似テ大ナリ全身赤色ニシテ羽翼ハ少ク藍色ヲ雜ヘ嘴ハ深紅

花斑鳥 「カブトドリ」魚狗ノ一種ニシテ大サ鳩ノ如ク全
身黒白ノ花斑アリ頭上毛冠又戴キ嘴長ク黒シ

シマムク 形白頭翁ヨリ小ニシテ頭白ク微褐ヲ帶ヒ咽赤褐
背黒クシテ紫光アリ翅尾皆青黒色ニシテ腹白シ

磯鴨 「イソヒヨドリ」ハ形鴨ニ似テ尾較短ク背胸
青ク腹赤褐色ナリ海邊巖石ノ間ニ居ル

ヤマカケス 土言「バルケウ」形「カケス」ニ同シ唯頭ニ白毛ヲ雜ヘ
ス目茶褐色ノ異アルノ善ク他鳥ノ聲ヲ擬ス

雌鳩 「キジバト」土
言「ツハツテ」

青鷓 「アホ
バト」

鶴 「タンテウ」土
言「サル、ン」

鷺 「シラサギ」土言「シヤンギ」但
和名「サギ」ノナマリナリ

獨春鳥 「ヨシゴ井」サ
ンカノゴ井

方目 「バ
ケン」

朱鷺 「トキ」方言
「マホドリ」

秧鷄 「クヒ
ナ」

緋秧

地鳴 「ヂ
ギ」

ボトシギ 頭背ハ黒ク茶褐色及ヒ黄色ヲ雜ヘ腹ハ灰色ニ
茶褐色アリ嘴長ク下ニ向テ彎曲ス

コシヤクシギ 「シヤクシギ」
ノ小ナル者

ヘラシギ 形較小サク嘴頭扁
大ニシテ筥ノ如シ

ソリハシチドリ 土言「ヒンベ
カウ」千鳥屬

アカアシチドリ 嘴長ク
シテ直

アホアシチドリ 前種
ト較

胸黒鳴 「ムネ
グロシギ」

白鷗 「シロカ
モメ」

海天貓

信天翁 「アホウ
ドリ」一名

鵜 「ウ」土言
「ウリ」

黒鳧 「ク
ロ

カ
シノリガモ 黒鳧ニ似テ額及ヒ肩ノ
邊白ク星月ノ狀アリ

キンダロハジロ 形大サ黒
ノ如ク

ヨシガモ 頭黒ク緑光ヲ帶ヒ茶褐色ノ毛冠
アリ頸白クシテ緑黒色ノ帶ヲ纏

背ハ黒ク茶褐色ヲ帶ヒ胸
ハ茶褐色腹ハ灰色ナリ

カ
シノリガモ 黒鳧ニ似テ額及ヒ肩ノ
邊白ク星月ノ狀アリ

ヨシガモ 頭黒ク緑光ヲ帶ヒ茶褐色ノ毛冠
アリ頸白クシテ緑黒色ノ帶ヲ纏

小鳧 「コガモ」方
言「タカボ」 尾長鳧 「ウナガ、モ」咽胸皆白ク頸背黒

鴛鴦 「ワシ」
モ 鳧 「マ」
ガ カルカ

雁 「マ」
ガ 黒雁 「コ」
ク 善知鳥 「ウ」
ツ

カツラガン 形鴈ヨリ較小ニ背翼ノ色鶯ノ如ク咽胸及ヒ

オハム 形狀「アビ」ニ同シ背 善知鳥 「ウ」
ツ

アビ 形狀咽丹褐色ナリ似 オハム 形狀「アビ」ニ同シ背

ウミカラス 形善知鳥ノ如シ唯嘴本ノ ウガモ 形「ウ」
ツ

海雀 「ウ」
ミ 海雀 「ウ」
ミ 擇捉海

雀 形海雀ニ似テ 雀 形海雀ニ似テ

魚之部

鱸 「ス」
キ 土 藻魚 「モ」
イ 方言「ソ」イ 土 言「シ」ヨイ 形「カ」サコニ似テ味美ナリ

アブラコ 土言「シ」リボツケノ奥羽地方ニテ「シ」ンジュト稱スル者

ホツケ 形「ア」ブラコニ似タリ鱸ノ群來ル少前ニ來タリ

ハゴトコ 形奥羽地方ニテ「ア」ブラコト稱スル者ニ 鱒 「ハ」タハタハ

火魚 「カ」ナガ トクビレ 形火魚ニ似テ鱒

青花魚 「サ」バ 土言「シ」ヤン

金鎗魚 「マ」カ 土言

杜父魚 「カ」ヂ 福

棘鬣魚 「タ」ヒ 土言「フ

桃花魚 「ウ」ケ ヒカ

鱒 「サ」ケ 方言「ア」キ

鱒 「サ」ケ 方言「ア」キ

イワナ 土言「チ

イトウ 土言「チ

鮎 「ニ」シ 方言「カ」ト 土言「ヘ」ロギ 仲脊

鮎 「ニ」シ 方言「カ」ト 土言「ヘ」ロギ 仲脊

鮎 「ニ」シ 方言「カ」ト 土言「ヘ」ロギ 仲脊

鮎 「ニ」シ 方言「カ」ト 土言「ヘ」ロギ 仲脊

鮎 「ニ」シ 方言「カ」ト 土言「ヘ」ロギ 仲脊

鮎 「ニ」シ 方言「カ」ト 土言「ヘ」ロギ 仲脊

鮎 「ニ」シ 方言「カ」ト 土言「ヘ」ロギ 仲脊

鮎 「ニ」シ 方言「カ」ト 土言「ヘ」ロギ 仲脊

網建網等ヲ以テ之ヲ捕ヘ腹ヲ割キ棘鱗白子ヲ去リ其肉ヲ乾シテ食用ニ供シ又絞リ粕トナシテ肥料ニ供ス其油ハ燈火ニ用フヘシ鰯「イ」シ「土」言「ボ」チカ「土」言「ト」ツヒカラ「他」邦「ノ」ワカサ「シ」ユシヤモ「形」チカ「ニ」似「テ」一月ノ初多ク鰯川ニ上リ鰯「ワ」ラズカ「形」鰯魚ニ似テ甚醜惡四月ノ末ヲ産シ十日ノ後悉ク去ル「室」關「近」傍「ノ」海ニ群來シ鰯ヲ産ス「土」人犬ヲシテ之ヲ捕ラ「大」口魚「モ」多ク産シ冬ハ旬繩ヲ以テ之ヲ捕獲シ或ハ乾製或ハ鹽藏シテ内地ニ「コ」マイ「形」大口魚ニ似テ小ナリ十送ル又其肝臟ヲ以テ肝油ヲ製スヘシ「印」魚「コ」バシイタ「テ」肥料ニ供ス「板」魚「ヒ」土言「シ」ムシベ「鰈」カレイ「土」言「タ」カ「印」魚「コ」バシイタ「ロ」パンサメ「又」コパンサメ「頭」上「魚」虎「ハ」リフグ「一」名「河」豚「フ」ク「土」言「イ」ル「楕」圓「ノ」肉「ヲ」裁キ以テ物ニ著ク「魚」魚「ハ」リセ「ン」ホ「ン」河豚「シ」カチエ「ツ」ツ「プ」翻車魚「マ」ン「ボ」ウ「方」言「キ」ナ「ボ」又「キ」ナ「ン」ポ「一」名「鱈」魚「カ」ワ「ハ」キ「方」言「チ」ツ「鱈」魚「メ」方「言」ム又其油ヲ飯ニ混シテ食ス其最大ナル者ハ丈餘ニ至ル長萬部海ニ最モ多シ「鱈」魚「カ」ワ「ハ」キ「方」言「チ」ツ「鱈」魚「メ」方「言」用テ刀鞘ヲ飾ル故ニ「ツ」カ「ザ」メ「ノ」名「ア」リ「其」浮囊「以」テ魚膠ヲ製スヘク又其鱗ハ鹽製シテ以テ露國人嗜ム所「ノ」カ「バ」ヤ「ラ」作「ル」鮫「サ」メ「土」言「イ」ヘ「鰻」ベシ其味ヒ牛肉ニ似タリ英人稱シテ川牛肉ト云「鮫」シ「ヤ」ル「コ」ル「ベ」鰻「イ」ヤ「ツ」メ「ウ」ナ「ギ」方「言」「ヌ」ク「鱒」鱒「タ」ナ「ゴ」鮒「イ」イ「ベ」鱒「タ」ナ「ゴ」鮒

此他猶ホ數種ノ魚アレ「尺」多ク内地ノ産ニ異ナル「ナ」シ故ニ畧ス

爬蟲之部

鼈

「ラ」サガメ「一」名「ヤ」サバ「鼈」ノ屬古來北海道ニ産スル「ト」ヲ聞カス明治十五年秋高島ノ海ニテ此種ノ海鼈ヲ得タリ其大五尺餘甲ニ龜甲ナク

縱ニ六條「蝮」蛇「マ」ムシ「土」言「ト」青蛇「ア」ホ「ダ」イ「ヒ」バカリ「黒」蛇「ク」ロ「ヘ」ノ蛙アリ「蝮」蛇「ツ」コ「カ」モ「イ」青蛇「ア」ホ「ダ」イ「ヒ」バカリ「黒」蛇「ク」ロ「ヘ」土言「マ」シ「ク」シ「マ」ナ「メ」ラ「土」言「フ」ルカモイ「ゴ」ラ「コ」

此他トカゲ、アカガヘル、アマガヘル等ノ數種アレ「尺」内地ノ産ト異ナル「ナ」シ故ニ畧ス

多節動物之部

エボカニ

方言「ガ」ニ「土」言「ム」リカラ「海」蟹「ノ」一種ニシテ加賀越中邊ニ産スルモノト異ナル「ト」ナシ其大ナル者右脚ヲ肩ニ荷ヒ左脚地ニ

垂ル「者」アリ「附」毛邊最多ク「鬼」蟹「ラ」ニガ「ニ」全身「銀」澤蟹「サ」ハ「喇」蛤「サ」ガ「ニ」土言「タ」ビ「シ」ツ「ベ」コ「ル」ベ「形」海老「ニ」似テ缺アリ多ク河澤ニ居ル頭ニ珠アリ「ラ」ク「リ」カ「ン」キ「リ」ト名ケ藥品ニ用フルモノナリ「縞」海老

ガ「ニ」土言「タ」ビ「シ」ツ「ベ」コ「ル」ベ「形」海老「ニ」似テ缺アリ多ク河澤ニ居ル頭ニ珠アリ「ラ」ク「リ」カ「ン」キ「リ」ト名ケ藥品ニ用フルモノナリ「縞」海老

「シマエビ」土言「ホロカテレケ」形「シラタエビ」ニ似シヤコ 方言「カサエビ」蜘蛛「クモ」ハチ「土言」蟻「ア」蝶「テ」土言「マレウク」蛾「ル」モノアリ故ニ「ト」蠅「ハ」蚊「カ」土言「イ」

「シヨ」ブ「ト」土言「イ」蛇「ア」土言「ラ」サイカチムシ テントムシ 天 牛 兜蟲ノ一種ニシテ兜長ク頭 芫青「ヤウ」ケンコロムシ 螢「ホ」ニ長キ探子アリ種類甚多シ

「ル」土言「ニ」シケブ 金龜子「カナ」象鼻蟲「ゾウ」ニ名ク大小數種アリ菓木ヲ害ス カ ミシモキ 一名「カタキマカケ」其形肩衣ヲ著タ 水爬蟲「ド」水中ニ居ル大ナル半翅蟲ナリ 蚤「ノ」土言「ミ」蝨「シ」土言「ミ」ダニ 土言「バ」飛蝗「ハ」土言「タ」魚類ニ害アリ 蝨「ノ」土言「ミ」蝨「シ」土言「ミ」

來アリ近年十勝ノ原野ニ多ク發生シ群ヲナシテ飛ヒ大ニ作物ヲ害ス 佐瑠邊土人ノ言ニ凡百年以前此蟲多ク生シテ近傍ノ茅ヲ食盡シ屋舎ヲ建ツルニ 苦シメリト コウロギ 蟋蟀「キ」土言「ギ」チケラ 土言「ラ」蜻蛉「ト」シコカケユイ

「ト」シコカケユイ 軟肉動物之部 蝟「タ」土言「ア」鳥賊「イ」土言「マ」イロサザイ 土言「モ」岩内ニ産ス海

外面淡綠色ニ茶褐ノ旋 條アリ其味美ナラス テツポラ 方言「ツ」形「イ」紫ザイニ似テ少ク 近海多クボカイ 一名「カン」カラガイ「形」キサゴニ似テ較大ナリ且巻留

ク産ス 眞珠「ト」コツメタ 通帯ノツメタ貝一名「ツ」マガイ「ヨ」田贏「タ」ノ如シ シマフトギリ 土言「タ」長圓錐形ヲナス外黄ニシテ赤褐

蝸牛「カ」タツ 色ノ條アリ多ク 石決明「ア」他ノ産ヨリ小ナリ殼薄ク且淺シ西 枝幸近海ニ産ス 北海中ニ多ク産ス干製シテ他邦ニ輸出ス

イ 片貝ノ一種ニシテ背甲アリ重疊魚鱗ノ如シ腹下肉アリ 海扇「ホ」其味石決明ニ劣レリ必ス石決明ト産處ヲ同シクセスト云

チヤクガイ 方言「バ」テ貝「海」扇ノ一種ニシテ殼老婦 牡蠣「カ」土言「ハ」長短 二種アリ長牡蠣ノ大ナル者ハ其殼尺餘ニ至 淡貝「カ」土言「ハ」長短

ル厚岸灣ニ多ク産ス堆積シテ島ヲナセリ 淡貝「カ」土言「ハ」長短 「ヒヨリ」カイ「方」言「シ」ユリ「カ」イ「形」タイ「カ」イ「ニ」似

テ小ナリ其殼深ク毛ノ如キ者アリテ岩ニ著ス ウバカイ 方言「ホ」ツキ

蛤仔「ア」サリ「土」言「シ」ヌル「ツ」文蛤「ハ」マ 石竊窠「ホ」土言「ト」ツイ 如ク赤色ニシテ洗アリ岩石ニ著

タ上ニ二口アリ味海鼠ニ似タリ

射形動物之部

海鼠 「ナマ」 海膽 「ウニ」 マンジュウウニ 「ニ」 殺 鉞ヲ生セス 灰色 ハスノ

ハガイ 「マ」 シテ形 蓮葉ノ如シ ヒトデ 「方」 言「ゴキ」土言「ウタカ」ラリ「ブ」形星

トデ 「ゲ」 カラリ「ブ」ト稱スルモノアリ「イタヤ」モミ「ゲ」ノ葉

ニ似タリ其表ハ藍色ニシテ赤斑アリ裏面ハ柑色ナリ テヅルモヅル

「ヒトデ」ノ一種ニシテ射出ス

此他動物甚タ多シト雖モ多クハ和名未タ詳カナラス故

ニ畧ス

植物

第一顯花植物部

雙子葉多瓣花植物

大蓼 「セン」 ニンサウ 「函」 館 クサボタン エゾハンシヤウヅル 「叢」 林

毛茛科

生ス蔓草ニシテ女萎(ポタンツル)ノ如ク長大ナラス全體毛茸アリ葉ハ

全縁卵圓ニシテ尖頭夏月葉腋ヨリ花梗ヲ抽ルニ三寸中間苞葉對生ス

大ニシテ三尖梗頂一花ヲ下垂ス形「ハン」シヤウヅルニ似テ較小通常四

瓣(萼)其外面暗褐ニシテ紫色ヲ帶ヒ又同色ノ毛アリ内面ハ淡褐色毛ナ

シ形卵圓ニシテ頂尖リ外ニ彎曲ス周邊白毛アリ實カラマツサウ 「ラ

ヲ結フ稠密尾ハ「ハン」シヤウヅルノ如ク長美ナラス ヒメイチダ

ツナ 「イ」 土言「アリ」ツコ 「山」 中陰地ニ生ス六月花開ク「ノ」カラ

マツ 「ア」 キカラマツ 「ノ」 兩種アリ又札幌邊山野ニ多ク生ス

幽谷樹陰ニ生ガジャウサウ 「一」 名「ニ」リンサウ 「土」 言「ブク」シヤキナ 「山」 林

ス五月花開ク キクザキイチリンサウ 「山」 腹陰地ニ生 アウシキナ

用トス又曝 乾シテ貯フ

土言ナリ又保禮利由牟宗谷十勝等ニ在リ狀牛扁ニ似テ特生其莖心ヲ

穿テ生ス六月花開ク白色五瓣莖高尺或ハ尺有半即チ「ア」子モ子「ハ」

シルバニ 側金盞花 「フ」 クジユサウ 「方」 言「マン」サク 「土」 言「ク

カ」ナリ マツ ウメバチモ 「バ」 イカモ 「池」 沼中ニ生ス葉水中ニアリ葉ノ如ハ

ヒキンパウゲ 「界」 濕ノ地ニ生ス毛茛「キン」パウゲニ似テ弱莖地ニ蔓生

缺刻鋸齒アリ葉莖共ニ少ク毛茸アリ花ハ

毛茛花ニ似テ大黄色光澤アリ毒草ナリ

多生ス四月黄花ヲ開ク土人根ヲ糧食ト

ス米國ニテハ葉ヲ糞テ食シ根ハ用ヒスト シラ子アフヒ 「方」 言山牡丹

中溪間ニ生ス五月花開ク四瓣
藤花色ニシテ大頗ル美ナリ **黃連**「セリバワウレン」長萬部靜ヤマヲ

ダマキ 土言「ニセウ」藤ニ生ス六月花開ク美觀ナリ **牛扁**「レイジンサ

コマツ」山中陰地ニ生ス廣尾保禮利由牟ノ間處々ニア **草烏頭**「トリカ

リ小樽山中ニモ産ス皆黃白色ニシテ殊ニ肥大毒アリ

言「プス」土言「シユル」又「セタ」シユルク山中ニ生ス莖高六七尺剛強其葉

刻缺淺短ニシテ厚ク深綠色ナリ秋莖梢枝ヲ分チ總狀花ヲナシテ深碧

色ノ花ヲ著ク一種濕地ニ生シ莖弱ク微ク蔓延スル者アリ其花淡紫莖

ニ著クコ甚タ粗ナリ所謂「ハナカツラ」ナラン又一種葉小ニシテ缺刻深

ク分裂纖長花ハ總狀花ヲナシ密著ス此劑葉烏頭「ホソバノトリカブト」

即チ土人ノ「ボン」シユルクト稱スル者ニシテ土人其根汁ヲ製シテ射罔

トナス其毒性ノ劇烈ナル巨熊ト雖モ一箭ノ下ニ斃ル土人根ヲ採ルニ

晚秋已後ヲ以テス又根ノ莖不莖ヲ撰ムニ其根ヲ咬テ應アレハ其汁膏

ヲ製シテ射罔トス又自ラ其製藥ヲ舌上ニ置テ之 **ルイエフシヨウマ**

又「エゾ」シヨウマ「土言「ム子」又「ラツ」又「シユト」マカ「深山陰地ニ生ス五

月花開ク土人根ヲ採リ水糞シ服ス心痛ヲ治スルト云秋月紫黑色ノ醫

果ヲ綴ル **サラシナシヨウマ** 又「クロ」シヨウマ「溪澗陰 **草芍藥**「ヤマ

毒アリ」土言「ホラフ」山野林中ニ自生ス濃紅花ノ者最も多シ札幌山中白

花ノ者稀ニアリ紅花ニ比スレハ稍大ニシテ愛スヘシ根ハ藥品ニ供ス

土人用テ胸

木蘭科

辛夷

「コブシ」方言「ヒキザクラ」土言「ラマウクシ」又「ラト」フケニ「山野共ニ自

生アリ其高大ナル者ハ五六丈ニ至ル木質白色正理美密ニシテ柔韌

ナリ屋柱及ヒ薪柴ト爲スヘシ方俗花ヲ採リテ **浮爛羅勒**「ホ、ノ、キ」土

諸病ヲ治ス土人此木ヲ飯ヒ其他小細工ト爲ス **北五味子**「マ

」山野共ニ生ス高凡六七丈木材以テ印板刀鞘木履其

他器物ヲ作りテ最モ佳ナリ土人葉ヲ以テ靴ヲ作ル

「サ」十勝土言「レツ」ブニハツタ「幌別」繪 **カツラ** 土言「ラン」コ「陰濕ノ地ニ生

ノ上」一里ニ巨材多シ當道落葉喬木中巨大ヲ成ス「カツラ」ニ較フル者ナ

シ其高十餘丈ニ至ル木材淡黃或ハ白色ノ者アリ質甚硬カラス木理細

直粘力アリ諸建築及ヒ造船ニ適ス器具ヲ作りテ雅致アリ一種方俗「ヒ

ガツラ」ト稱スル者アリ木質新條共ニ紅色ヲ帶フ故ニ名ク床板建具其

他器具ヲ製スル最上品ナリ其狀通常ノ「カツ

ラ」ニ異ルナシト雖モ唯葉ノ芬芳多キヲ覺フ

木通科

ミツバアケビ

方言「アケビ」函館近傍叢林中ニ生ス

伏牛花科

小蘗

「メギ」又「コトリ」トマラス「函館邊ニ生ス山民 **伏牛花**「トリ」トマラス」又

此木ヲ以テ染料トナス又煎テ洗眼劑トス

館管下山中ニ多シ五六月花開ク
ルイエフボタン 山中陰地ニ生
ス六月花開ク 淫

羊藿「イカリ
サウ」 山荷葉「サンカエフ」
山谷ニ生ス

睡蓮科

蓴「ジュンサイ」又「ヌナハ」渡島國蓴菜沼長
萬部等ニ産ス嫩葉ヲ採テ食用トス 萍蓬草「カハホ子」土言「カバト」水
澤河邊ニ産ス三石邊土
人根ヲ糞 睡蓮「ヒツジクサ」沼澤ニ
テ食ス 產ス藥劑ニ用ユ

罌粟科

罌子粟「ゲシ」天明八年ヨリ寛政二年ノ開始
テ有珠地方ヘ播種ス成熟可ナラス 白屈菜「クサノワウ」路傍土墻
ハ黄汁ヲ滴ス疣ニ塗テ効 荷包牡丹「ケマンサウ」内地ヨリ移栽
アリ服用スレハ毒ナリ スル所ニシテ花園ニアリ コマ

クサ 札幌山中 延胡索「エンゴサク」方言「ケコモ」土言「トマ」陰林ニ生ス四
土人論テ曝乾シ食ニ充ツ其味慈姑
ニ似テ淡ク苦味ナシ藥用ニ堪ヘス エゾキケマン 土言「ホイ」又「チシス」
五月花開ク

十字花科

ミヅタガラシ 溝瀆淺水中ニ生ス 葉
莖共ニ生食スヘシ 風花菜「スカシタゴホウ」土言「ゲ
芥菜「ヤマガラシ」又「ミヤマガラシ」多
ク山中河畔ニ生ス六月花開ク タチスバシロサウ「イハハタ
山中石間 南芥菜「ハタザホ」錢函余市 碎米菜「タ子ツケバナ」昇濕ノ地ニ
ニ生ス 等ノ海濱ニ生ス 生ス嫩芽及ヒ葉ヲ採リ生
食ス ハマナヅナ「ヒメタ子ツケバナ」海邊 コンロンサウ 山中樹陰
ヘシ 月花 葶藶「イモナヅナ」土言「タイ」イワナヅナ 山中石間ニ生ス葶藶ノ類
開ク 山苜蓿「フサビ」土言「キセハリ」 莖莖「アブラナ」又「ナタ子ナ」土言「アタ
ク 種ユ今各 甘藍「ハボタン」米種「キヤバ」本使 蕪菁「カブラ」和洋種
地ニアリ 移シテ札幌七重等ヘ播種ス 燕菁 共ニ播種ス 薺「ナ
ナ」又「ベン」グサ 過藍菜「ゲンバイ」 菘藍「ダイセイ」土言「セマ」アタ子ノ様
土言「レイケイ」ス

菜菔「ダイコン」寛政二年初テ白糠川等ニ種ユ
松前函館近村ニ産スルモノ特ニ肥大ナリ

堇菜科

胡堇菜「エゾスミレ」又「カクレ」 紫花地丁「スミレ」又「モ
レ」モトキナ」室蘭鷺別福島山中等 堇菜「タチツボ」スミレ多
ニ生ス葉大ニシテ花黄ナリ 山野林中ニ生ス オホバナノキスミ
オホタチ

ツボスミレ 叢林中ニ生ス莖葉ニ似テ頗ル大高尺餘ニ至ル葉大ニシ淡紫色アリ アギスミレ 札幌函館三石其他ニ生ス花白クシテ小ナスミレ 一名遊蝶花洋種ナリ 多ク家庭ニ移シ種ユ

遠志科

遠志 「ヒメハギ」

石竹科

瞿麥 「ナデシコ」又「カハラナデシコ」

女婁菜

ノウ 「ホウテンクワ」函館邊勇拂等ニ生ス花 海邊岩上ニ生ス莖稍傾側シ莖葉共ニ微毛アリ花ハ卷耳ニ似テ頗大ナリ 白ニシテ長葶ニ倍ス

雀舌草 「ノミノフスマ」札幌邊濕地ニ生ス オホヤマハコベ 「センニンハコベ」札幌邊岳自老函館等ニ生ス 札幌邊ニ産スルモノ葉本潤ク無梗ニシテ頭尖銳狀披針ノ如シ或ハ別種ナラン

オホヤマハコベ 「タカノツメ」又

オホヤマハコベ 「タカノツメ」又

ハマハコベ 函館岩内鏡函石狩等海濱ニ生ス莖長一尺許地ニ場シテ生シ葶五葉花五瓣アリ 白漆姑草 「ツメクサ」又

馬齒莧科 馬齒莧 「スベリヒユ」

半支蓮 「マツボタ」

金絲桃科

湖南連翹 「トモエサウ」又「クサビヨウ」

小連翹 「オトギリサウ」

ミヅオトギリ

山茶科

彌猴桃 「シラクチ」又「サルナシ」

一二尺ニ至ル又強硬彈力アレハ急流ニ張リテ渡船ヲ維持スヘク又蛇箱ト爲シ汲索ト爲スヘク其皮以テ紙ヲ製スヘシ實ハ橢圓綠色ニシテ

降霜後始メテ熟ス肉軟ニシテ味甘酸土人好テ食ス又腸傷ニ効アリ或ハ酒ニ製ス

木天蓼 「マタ、ビ」又「ナツム」

山中ニ生ス秋月實熟ス形「コクハ」ニ似テ尖銳色丹黃味甘幸生食スヘシ又未熟ノ實ヲ鹽蔵シテ食ス又彌猴桃木天蓼ハ條中水液多シ斷テ之ヲ

飲ム渴ヲ
醫スヘシ

菩提樹科

シナノキ 「ヘラノキ」津輕「マタノキ」土言「コベレ」又「コベレ」高五六丈
圍七尺ニ至ル大葉小葉ノ二種アリ共ニ建築器具ノ用ニ供ス

「シナカハ」ナリ其色淡黃褐質強韌最モ能ク水ニ耐フ故ニ索ト爲シテ舟
板ヲ綴合シ或ハ馬具ト爲シ又漁業ノ脚絆ハ多ク此皮ヲ以テ製

シ又織テ布ト爲ス南部ニテ「マダマ」ト呼フ又蔭席ノ文ト爲ス オホバ
ボダイジユ 石狩後方羊蹄山中ニ多シ菩提樹ニ似テ其葉頗ル大ニシ

テ圓ナリ下端或ハ心臟ノ形ヲ成シ或ハ截形ヲ爲シ實ノ
著スル處
凹窪ス

牻牛兒科

牻牛兒苗 「ゲン」ノ「グンナイフウ」 山野各處ニ在リ盛開ノ候
埃ゾフ

ウロ 「ハマフウ」函館岩内鏡函千歳等ノ海濱ニ生ス 酢漿草 「カタバ
六七月花開ク其狀最モ白山フウロニ似タリ

野鳳仙花 「ツリ」フ子サウ「廣尾」土言「ハウチク」ニ「キツリ」フ子
内地ノ者ニ比スレハ花稍小ナリ

鳳仙花 昔時内郡ヨリ移植ス
ル者ナリ各地ニアリ

芸香科

秦椒 「サン」セウ「土」言「カ」 葉 「キ」ハ「ダ」方言「シ」ロ「コ」土言「シ」ケ「レ」ベ「ニ」十勝川上殊
シ「チ」カ「マ」ニ「」ニ多シ其材器物ヲ製シ家屋ニ用ヒ皮ハ以テ黃

色ヲ染メ藥用ニ供シ外皮ハ「コー」ク「性」ヲ有ス土人以テ舟ヲ作り或ハ屋
ヲ覆ヒ又壁及ヒ席等ニ換フ黒龍江邊ノ漁夫其皮三四枚ヲ合セ漁網ノ

浮兒ヲ作 茵芋 「ミ」マ「シ」キ「ミ」土言「エ」リ「ト」バ「キ」ナ「札」幌
岳長萬部ノ雷登等ノ山背陰地ニ生ス

黄棟樹科

黄棟樹 「ニ」ガ「キ」土言「シ」ユ「ン」ニ「岩」内「札」幌「室」蘭「虹」田「諸」山ニ生ス土人皮ヲ剝
キ綴テ輪トナシ則リ鑼メテ交ヲナシ婦人ノ首飾トス此樹多ク

苦味ヲ含ム括失亞ニ代用ス可シ又
煎テ汁ヲ寄蟲ニ灑キ最モ功アリ

冬青科

イヌツゲ 札幌函館地方 ツルツゲ 渡島國山
山中ニ生ス

衛矛科

衛矛 一種「コ」マ「ユ」ミ「松」前「方」言「照」葉
函館札幌松前等山中ニ生ス 桃葉衛矛 「マ」キ「土」言「ク」ニ「フ」ニ「」又「シ」ヨ

ロカシ「天」鹽川上流殊ニ多シ木理緻密白
質強硬以テ器具ヲ製スヘシ又櫛ニ宜シ ツリバナ 札幌邊山中ニ生ス
水頭崖岸ニ生ス

者大丈餘 ツルマサキ 林中陰濕ノ地ニ生ス内地ノ者
ニ至ル ツルムメド 比スレハ葉頗ル大且厚シ
キ 方言「ヤマガキ」土言「ハイブンガラ」蔓ニ織緯アリ潔白ニ
シテ長シ用テ紙ヲ製スヘシ土人皮ヲ剥テ釣繪ニ用フ

葡萄科

山葡萄 「ヤマブドウ」土言「ハツブンガラ」蔓ハ獼猴桃ニ類ス降霜ノ候實熟
ス形圓ニシテ色暗紫其味甘酸土人好テ食フ此種ハ米國北部ニ
多ク生ス「イサベラ」「カトウバ」「コンコード」等ノ種アリ開拓使之ヲ米國ニ
購ヒ七重札幌等ニ移ス能ク地質氣候ニ適シ繁殖スル「自生種」ニ異ナ
ラ 山梨縣下ヨリ七重試驗場 蛇葡萄 「ノブダウ」方言
ス 葡萄 等ヘ移ス繁殖宜シカラス ヲクアラブタウ」烏歎莓 「ヤブ
シ」及「ビシ」ボカツラ」
土言「イラブンガラ」

無患樹科

七葉樹 「トチノキ」土言「ラシヨロ」及「ベロニ」山中陰濕ノ地ニ生ス西海岸
ヨリ北海岸ノ山ニ多シ巨樹アリ材質白色淡黄ニシテ斑點アリ
極テ美密ナリ屋材器具ノ用ニ供ス又盆盂等ニ作ルヘシ土人剃テ船ニ
造ル其子ハ澱粉ト爲スヘシ唯他道ノ山民穀ヲ去リ曝テ米粉ヘ雜ヘ餅
トナス苦味アル故ニ直メイゲツカヘデ 方言「ハナイタヤ」土言「イワト
ニ食用ト爲ス能ハスト トキハカヘデ 方言「トベニ」多ク山腹高燥ノ地ニ
生ス秋月紅葉錦ノ如シ木質トキハカヘデ 方言「トベニ」山野共ニ生ス
緻密諸器具ノ柄ト爲スヘシ

石狩國特ニ巨樹多シ木質白色密理甚タ堅カラス鐘メ易シ土人以テ器
具トナシ刀鞘イクバシ、マキリ、タシロ等ノ柄及ヒ杓子烟草袋ノ類ヲ作
ル又農具ノ柄ニ宜シ越後ニテハ雪車ニ作ル當道ノ「カヘデ」類其液多少
ノ糖分ヲ含ム就中「イタヤ」最も多シ其液汁ヲ取ルハ二月中旬ヨリ三月
上旬マテヲ以テ最良トス其液汁ヲ糞 オガラバナ 山中幽溪ニ生ス落
テ糖密或ハ砂糖ニ製ス風味至テ宜シ カラコギ 「モチ子ツ」方言「ナ
九尺札幌邊六月ノ頃梢ヨリ穂ヲ出ス 省沽油 「ミツバウツギ」土言「シヨ
「ヤ」札幌邊谷地ノ側ニ多ク生ス八月 月 葉瀝木ニシテ高ハ
ノ頃果實紅色ヲ帶ヒ頗ル美觀ナリ 函館邊山野叢林中
ニ産ス六月花開ク

漆樹科

鹽膚木 「フシノキ」方言「ゴマギ」函館小樽余市等ニ生
ス小樽邊ノ者皆瀝木ニシテ葉肥大ナリ ヤマハゼ 「ヤマウル
シ」染料ニ用フ エゾウルシ 葉漆ニ似テ大下端ノ小葉ニ四粗ナル蠟
ニ刺アリ 野葛 「ツタウ

木本鈎吻科

木本黃精葉鈎吻 「ドクウツキ」ナベハリ「カハラウツキ」又「ミソヤカズ」高
五六尺八月頃實ヲ結フ熟シテ赤色誤テ食スレハ死

ニ及フ木葉
共ニ毒アリ

荳科

野決明

「センダイハギ」土言「サナシム」ニ海
類ニ生ス 鏡函邊六七月花開ク

オランダゲンゲ

「シロツメクサ」英名

（ホソイト、ク
ローバル）

ムラサキツメクサ

英名（レッド、クロール）開拓使移シ
テ札幌七重其他ノ牧場ニ播種ス

シヤジクサウ

渡島國山
野ニ生ス

百脈根

「ミヤコグサ」又「コガ子」札幌邊六
月ヨリ花開ク 西洋諸國牧草ニ用フ

其養分「クローバ
ル」ニ劣ラスト云

木黄芪

「モメシヅル」札幌豊平川河側
沙地ニ生ス 七月上旬花開ク

タテヤマワウ

ギ 木黄芪ト共ニ生シ
又同時ニ花開ク

山菜豆

「ヤブハギ」又「ヌ
スビトハギ」

胡枝子

「ハギ」土言「シゲツ
プ」札幌邊八月花開ク

クキハギ

「ノハキ」函館三石
佐瑠山中ニ生ス

鐵掃帚

「メドハギ」土言「ボン
シゲツ」原野沙地ニ生ス

ク

サフヂ

原野各地ニ生ス 牧草ニ宜シ「ツル
フヂ」バカマ、野豌豆「ハマエ
及ヒ大巢菜（カラヌ）ノエンドウ」モ各處ニ産ス

野豌豆

方言「キツチマメ」又「イビ」土言「メナシヤル」又「メナシヤル
ガラ」又「バシクルハル」東海岸皆産ス 土人實ヲ採リ食ス

苙苙决明

「レンリサ
ウ」昇瀧ノ
地ニ生ス 札幌七月花開ク 當道産ノ者葉稍ヤ
潤クシテ橢圓ノ者アリ 托葉モ亦潤大ナリ

登加留ニテ「ウシクサ」ト云 此草能ク蟲ヲ殺ス 故ニ名ク

山藜豆

「ウシクサ」昇瀧ノ
地ニ生ス 札幌七月花開ク 當道産ノ者葉稍ヤ
潤クシテ橢圓ノ者アリ 托葉モ亦潤大ナリ

瀧クシテ橢圓ノ者アリ 托葉モ亦潤大ナリ

歪頭菜

「タニワタシ」又「ナ
ンテンハギ」土言

「ハウチ
キナ」 豌豆

「エンドウ」洋種數品アリ
皆能ク地ニ適シ繁殖ス

大豆

「オホマメ」寛政二年原新介初
メテ鶴川地方へ播種ス 能ク

風土ニ
適ス

土園兒

「ホドイモ」山野叢林ニ
生ス 其根ヲ食スヘシ

葛

「クズ」土言「ライカラ」其莖以テ乾
鮮ヲ束ヌヘシ 方俗之ヲ「フヂ」ト

云土人莖ヲ採リ水ニ漬シ皮ヲ剥キ絲トナシテ

衣服ヲ縫フ 其根食スヘク 又澱粉ヲ製スヘシ

菜豆

「インゲンマメ」寛政
二年原新介初メテ

鶴川地方へ播種ス 紅白褐斑ノ

數種アリ 東地土人亦耕種ス

赤小豆

「アツキ」播種同上 明治以降多
ク膽振國ニ産シ 大ニ名アリ

豆

「サ、ゲ」播
種同上

穰槐

「イヌエンジユ」方言「エンジユ」土言「チクベニ」山野各
處ニ生スト 雖モ潤濕ノ地ニ生スル者特ニ巨大ナリ

石狩平原及ヒ苫前川上ニ巨樹多シ 土
人以テ烟草袋烟草盆其他器物ヲ造ル

薔薇科

梅

「ウメ」松前志ニ單瓣重瓣紅白種類
多シ 陰曆三四月ニ至リ花開ク

山嬰桃

「ヤマザクラ」土言「カリシ」五六月花開
ク 又「カリバナ」

ク土人皮ヲ以テ船板ヲ綴リ 又以テ弓ヲ飾リ 刀鞘箭筒ヲ纏フ 又印板其
他器物ニ造ルヘシ 其用最モ多シ 又重瓣ノ者アリ 西部太田海岸絶壁ノ

在リ

李

「スモ」松前此木多シ 或ハ鹽
シロザクラ 山中ニ生ス 大木ヲ成
サス 六月上旬白花開

地ニ

其形圓或ハ橢圓ニシテ 鋸齒アリ 小枝葉花梗等ニ毛茸アリ 葉柄ニ密線

シウハミヅザクラ

方言「シウリ」又「シラリ」又「イヌザクラ」土言「ホタエ
ニ」陰濕ノ地ニ生ス 六月花開ク 秋ニ至ツテ實熟

ナ
シウハミヅザクラ
ニ陰濕ノ地ニ生ス 六月花開ク 秋ニ至ツテ實熟

ス鹽藏シテ食フ色理「ヒガツラ」ニ異ナラス エゾウハミヅザクラ

枯力アリ魚鱗漁艇車輪及ヒ橋等ニ作ル

倒卵ノ如キアリ其穂白色「ウハミヅ」櫻ニ似テ其葉橢圓或ハ頭圓ニシテ本小

葉及ビ毛茸ナシ 桃 「モ」和洋兩種アリ北地寒氣ニ 繡線菊 「シモツケ」山

七月花 珍珠花 「コメハナ」又「イハヤナ」ホザキシモツケ 多ク湿地ニ

開ク シモツケサウ 「ナツユキサウ」陰濕ノ地ニ生ス一種札幌其他山野

ク白花ヲ開キ莖葉皆毛アル者 ホザキナ、カマド 函館山、エナラ峠、

アリ之ヲ「オニナツユキ」ト云

棣棠花 「ヤマアキ」松前函館等 蕁田蕙 「ナハシロイチゴ」土言「ホルカル

ス ナラ ミヤマアシクダシ 「エビガライチゴ」土言「ユケマウシ」八月實

エフイチゴ 土言「アレキナ」又「アレキナヒカ」釧路國厚岸、濱中、エゾ

イチゴ 「アハイチゴ」石狩十勝等山中ニ生ス莖弱クシテ臥シ長數尺ニ

及ビ莖共ニ刺アリ葉腋ニ四白花 懸鉤子 「キイチゴ」土言「イマレ

ヲ生ス八月實熟ス色赤味美ナリ

「ダイコン」サウ「土言」ホンライタ「又」タクタクセツヒ「原野道傍等ニ生ス

八月花開ク一種葉倒卵狀ニシテ兩端尖リ托葉頗ル大ナル者アリ 蛇

莓 「ヘビイチゴ」又「ク シロバナノヘビイチゴ」山中ニ生ス五月白花

熟ス赤色ニシ ミツバツチグリ 山野湿地ニ生 ツルキンバイ 長萬

テ味甘美ナリ クロバナラウゲ 谷地ニ生ス札幌 狼牙 「ミツモトサ

館等海濱ニ生ス

八月黄花ヲ開ク キンララウバイ 十勝其他山 龍芽草 「キンミツヒ

野及ヒ溝渠ノ側ニ

生ス八月花開ク

「土人」此葉ヲ取テ金瘡ニ傅ク松 地榆 一種 「ナガバナシ」ワレモコウ

前ノ俗ハ其根ヲ用テ腹痛ヲ治ス

生ス札幌邊八月花開ク又 野薔薇 「ノイバラ」渡島 瑰玫 「ハマナス」土言「マ

同種ニシテ紅花ノ者アリ

ニ海邊沙地ニ生ス高二三尺ニ過ス宗谷ニ成林アリ高者丈餘圍尺許ニ

至ル花香氣アリ蒸溜シテ香水ヲ製スヘシ秋月實熟ス方俗茄子ト共ニ

茹トナシテ食フ土人實ヲ海水ニ 梨 「ナシ」和洋種共ニ移ズ 「ヤマナシ」

洗フテ食シ根ヲ腐色染料ニ用フ 裁ス能ク實ヲ結フ

ハ酸苦ニシテ生食スヘカラス梨ノ樹枯トナスニ宜シ 海棠 「カイダウ」

等ニ移栽スル 林檎 「リンゴ」開拓使之ヲ米國ヨリ移シ七重并ニ札幌

茲ニ年アリ

ラジロノキ 札幌邊林 アヅキナシ 「シラシテ」方言「カタスギ」土言「チケ

ル其質堅ク色白緒ニシテ

花楸樹 「ナ、カマド」土言「セイカバラ」山中ニ

粘力アリ器物ニ造ルヘシ

生ス高二三丈材質灰白色ニシテ密

理堅致ナリ器
物ニ造ルヘシ
エゾオホサンザシ
羊机子ノ一種
稍大ニシテ葉花梗
茸共ニ毛
カマツカ
ウシコロシ
土言「コトルシ子」
渡島國中多ク生ス
春末細白花ヲ開キ
夏月實熟ス
赤色小兒之ヲ食フ

虎耳草科

鬼燈檠
「ヤグルマサウ」山中
除濕ノ地ニ生ス
虎耳草一種
「ダイモンジサウ」山中
崖ニ生ス
九月花開ク
クモサウ
「イハアキ」
嶺間ニ生ス
ヅダヤクシユ
山中ニ在リ
クモサウト共ニ生ス

子コノメサウ
札幌邊山野濕地ニ生ス
又此類ニ
ムメバチサウ
山野
濕地ニ生ス
ノリノキ
「ノリウツギ」
方言「ニレ」
又「サビタ」
土言「ラフ」
八月花開ク
シヤニ
山野ニ生ス
札幌邊八月花開ク
土常山

「キアマチャ」
又「アマチャ」
土言「ラシユハ」
山中
濕地及溪畔ニ生ス
札幌邊七八月花開ク
ツルアヂサイ
「ツルデマ」
山野林
中ニ生ス
札幌
邊七月花開ク
鑽地風
「イハカラミ」
又「ユキカッラ」
又「ウチワギ」
樹上或ハ
巖壁ニ攀纏ス
函館邊黑松内札幌等ニ生ス
七月

花開
山梅花
「サツマウツギ」
又「バイクハウツギ」
エヅリベス
「アカリベ」
又「ス」
厚岸及
函館邊ニ生ス
灌木長六七尺
葉厚致ニシテ背ニ絨毛アリ
缺刻三五且
ツ淺ク頭鈍尖ニシテ脚部ノ狀心臓ノ如シ
周邊ニ齒アリ
花淡紫色
穂ヲ
成シ上生ス
穂軸ニ毛茸アリ
實ヲ結ニ及テ下垂ス
紅熟佳味ナリ
又一種
小灌木ニシテ厚岸濱中山道及ヒ宗谷邊ニ生ス
ル者アリ
其果實赤色ニ

シテ鬚毛ヲ有ス
味瓊
盆子ニ似テ酸味アリ

景天科

費菜
「キリシサウ」
土言「ユキトバケラ」
又「クナウ」
馬齒莧菜景天
「ミセバヤ」
又「タマノ」
山中殿石上ニ生ス
七八月ノ頃花開ク

茅膏菜科

モウセンゴケ
「マゴノテ」
石狩函館岩内其他澤地ニ生ス
葉ニ梗アリ
橢圓
シ毛頭露珠ヲ著ク
粘カアリ
小蠅及他ノ小蟲其葉ニ止ル
アレハ粘著シ
テ逃ル、
能ハス時ニ外邊ノ長毛徐ニ纏フテ之ヲ掩ヒ終ニ其養汁ヲ
吸フテ己ノ
滋養ト爲ス

蟻塔科

ムマノヲグサ
羅甸名「ビユユリス」
フルガリス
札幌邊澤畔ニ多ク生ス
其
每節叢生シ
每葉又一花ヲ有ス
其構造頗
アリノタフグサ
山野
微濕
ル節單ニシテ一雌一雄且ツ無瓣ナリ

千屈菜科

エゾミソハギ 土言「セント」石狩十勝其他昇濕ノ地ニ生ス七八月ノ頃花
開ク千屈菜ニ似テ葉ハ披針ノ如ク脚部潤クシテ心臓ノ
如シ或ハ對生シ或ハ三葉叢生ス花簇生シテ穂ヲ
ナス密ナリ雄蕊十二十勝土人苗ヲ取り瀾テ食ス 百日紅「サル」ス 石榴
「ハナザク」松前志ニ近
年他道ヨリ移シ植ユ

柳葉菜科

柳葉菜 「アカバナ」札幌邊濕地或ハ
河畔ニ生ス八月花開ク イハアカバチ 多ク水邊
「ヤナギサウ」山中向陽ノ地ニ 生ス
ミヅタマサウ 林中陰濕ノ地ニ生ス
ウシタキサウ 「オランダゴシ」山中陰地
ミヤマタニタデ 谿間ニ
生ス
月花開ク又札幌近傍山
中稀ニ「タニタデ」ラ生ス マツヨヒグサ 洋種ナリ明治以後移
種ス今野生ノ者アリ 芟 「ヒシ」
生ス土人ハ實ヲ食料ト爲ス

葫蘆科

ミヤマニガウリ 土言「チカッポブンガラ」山下陰林
中ニ生ス札幌近傍八月花開ク 絞股藍 「アマチヤヅ
ル」土言「シヨ

冬瓜 其他ニ生ス八月花開ク 南瓜 「タウナス」又
「カモウリ」又 西瓜 「スイ」越瓜 「シロ」扁蒲 「ユウガホ」以上寛政ニ
タウガン」

繖形科

石胡荽 「チドメサウ」昇
濕ノ地ニ生ス 變豆菜 「ムマミツバ」又「オニミツバ」山野叢
林中ニ生ス札幌邊七月花開ク 南紫胡
「ホタルグサ」又「マルバサイゴ」土言「ラブシ」石狩
岩内幌別函館其他叢林中ニ生ス八月花開ク ドクセリ 「カハセンゴ」
側ニ生シ札幌邊七 月花開ク ダケベリ 「カノツメサウ」山中微濕ノ
地ニ生ス札幌邊八月花開ク ミツバ
月花開ク毒草ナリ 野胡蘿蔔 「ヤブニンジン」又「ナカジラ
バセリ」土言「ツホー」原野濕地ニ 生ス七月花開ク新苗イブ
生ス七月花開ク其葉食スヘシ 野胡蘿蔔 「ヤブニンジン」又「ナカジラ
バセリ」土言「ツホー」原野濕地ニ 生ス七月花開ク新苗イブ
六月花開ク シヤクナ 函館札幌其他微濕ノ地ニ生ス七月花開ク新苗イブ
開ク キバウフウ 札幌豊平川上河畔
ハマバウフウ 岩内函館石狩等海濱
ニ生ス八月花開ク
水薺 「セリ」土言「オ」沼澤中ニ生ス札幌
蛇牀 「ハマセリ」又「ハマニンジン」松
邊八月花開ク土人ノ食フ 前方言「コシヤク」土言「イチヤ
リキナ」函館松前繪鞆等海邊ニ生ス肥大ニ
シテ微ク香氣アリ春夏ノ間土人ノ食フ エゾニウ 土言「シウキナ」又
「チシライ」獨活ノ

類ニシテ肥大北部ノ地大ナル者多シ宗谷樺太邊高一二丈圍一尺五六寸ニ至ル者アリ節間三尺許竹筒ノ如シ土人曝乾シテ矢筒ト爲シ又機織ノ具ト爲ス土人芽ヲ採リ皮ヲ去テ生食シ或ハ日ニ干シ貯フ其味微ク辛苦ニシテ臭氣アリ **エゾオホバセンキ** ヲ 溪側ニ生ス土人 **ハナウド** 方言「サク」土言「ビツト」又「フシキナ」山野微時ニ之ヲ食フ 他ニ生ス其氣味臭 **アマニウ** 方言「ニウ」土言「イマキナ」又「シイチシホヤ」惡土人稀ニ食フ **アマニウ** 實ニ似テ大ナリ土人莖ヲ折リ生食ス其味微甘故ニ **竊衣** 「ヤブジラミ」叢林「アマニウ」ノ名アリ又或ハ皮ヲ去リ割キ乾テ貯フ **開**

五加科

土當歸

他叢林中ニ生ス方俗嫩芽ヲ採リ食フ **總木** 「タラノキ」方言「タラブ」又「タラセン」土言「トケ

アニシニ山野叢林中ニ生ス殊ニ海濱 **土參** 「トチノキノニンジン」又「チクニ近キ山ニ多シ春嫩葉ヲ摘ミ食フ

イ「繪柄長萬部大沼嶺福島札幌 **人參** 「オタ子ニンジン」松前志ニ享保二

等山中陰林ニ生ス七月花開ク **五加** 「ウコギ」函館松前

ナリト又開拓使勸業課ニテ數年間 **刺楸** 「ハリギリ」方

札幌ニ於テ試験ノ爲メ培養セリ **五加** 邊ニ生ス

又「オニセン」土言「アユシニ」山野陰濕ノ地ニ生ス八月花開ク材ハ建築及ヒ器具ノ用ニ供ス土人以テ剝舟ヲ造ル **アブラギ** 「ニジンボク」土言「コトロシニ」山野濕地ニ生ス八月花開ク **ハリブギ** 「クマ材質白色細理ニシテ堅カラス木履及ヒ匣箱等ニ宜シ **山中樹陰ニ生ス**

山茱萸科

八角楓

「ウリノキ」山腹陰地ニ生 **ミヅキ** 土言「ウドカニ」多ク山中ニ生ス

宜シ洋説ニ凡水木ノ屬皆根皮等ニ「コルニン」ナル原性ヲ含有シ「キナ」イニニ代用スヘシ又楊枝ニ用ヒ齒ヲ白クシ鹹ヲ堅クスルノ功アリ **ゴ**

ゼンタチバナ 函館及ヒ常山溪等 **桃葉珊瑚** 「アラキ」函館松前

忍冬科

雙子葉單瓣花

レンブクサウ

札幌邊除樹中ニ **接骨木** 「ニハトコ」方言「コブノキ」土言「ラ

月實ヲ結ブ赤黄ニ種アリ此樹木耳ヲ出ス綱走山中ノ者特ニ名アリ方

俗此木ヲ薪ト爲スヲ忌ム東部ノ土人此木ヲ以テ葬具ト爲ス又此木ヲ

海中ニ入ル、ヲ忌ム **カンボク** 叢林中微濕ノ地ニ生ス五六月ノ頃花開

テ酒ト爲スヘク ムシカリ 「オホガメノキ」土言「リケンダホ」ヘミノ

又生食スヘシ 山中生ス六七月ノ頃花開ク

キ 札幌岳及ヒ函 **楊楮** 「タニウツギ」山足河側等ニ生ス七月花開ク又一

種 庭庭岳ニ生スル者ハ其花淡藍色ニシテ葉片

大ナリ **クロミノウグヒスカヅラ** 土言「エリモタン」又「トヘチ」厚

クノ類ナリ實熟シテ黒色味甘酸ニシ **ナ、コロビ** 石狩方言「ブシダマ」

テ汁多シ萼ハ線形ニシテニ葉ヲ生ス **ナ、コロビ** 土言「キン子」海邊砂

地ニ生ス灌木高六七尺葉ハ長橢圓或ハ倒卵形ニシテ毛茸アリ對生ス

七八月ノ頃赤實ヲ結フ圓形ニ粒雙著ス大毒アリ土人大ニ恐ル「ナ、コロ

ロビ」トハ一粒ニテモ食スレハ七歩ヲ出スシテ

斃ルハノ意ナリ又「ブシダマ」ハ毒實ノ意ナリ

茜草科

クルマバサウ 陰林中ニ生ス 五月花開ク **エゾアカ子** 「オホアカ子」土言「イナウチキ」

月花開ク茜草ニ似テ頗ル大ナリ葉ハ同ク四四相對スト **エゾキヌタ**

雖形披針ノ如ク殆ト無梗長二寸五分餘ニ至ルアリ

サウ 札幌邊河畔ニ生ス七月花開ク「キヌタサウ」 **キクムグラ** 札幌邊

生ス又「ホソバ」ノヨツバムグラアリ又一種「ヨツバムグラ」ノ類ニ **蓬子**

シテ葉潤大形稍倒卵ノ如ク特ニ山中陰地ニ生スルモノアリ

菜 「カハラ」アツバ」多ク海濱河 畔沙地ニ生ス七月花開ク

敗醬科

敗醬 「ラミナヘシ」土言「セタツベキナ」札 幌函館當麻等ニ生ス八月花開ク **オトコヘシ** 土言「ユツタラ」札 幌

ホバオミナヘシ 禮文華山道其他山林ニ生ス地花菜ニ似テ葉 刻岐淺ク形「オガラバナ」ノ葉ニ稍似タリ

蘿蔔科

山蘿蔔 「マツムシサウ」又「リンボウギク」多 ク様似海岸ニ生ス八月花開ク

菊科

山蘭 「ヒヨドリバナ」土言「ヤ、ムニ」山野各處ニアリ八月花開ク數種アリ 其葉互生スル者アリ對生スル者アリ又四葉六葉相對スル者アリ **款**

冬 「ヤマブキ」又「エゾブキ」又「ノブキ」土言「コルコ」山足溪湖陰濕ノ地ニ生 スル者ハ長八九尺圍八九寸葉徑四五尺ノモノアリ土人其葉ヲ笠ニ

代用シ或ハ莖葉ヲ連子テ傘ニ換フ又莖葉ヲ生食シ或ハ論シ或ハ炙リ

夏秋間過半ノ食ト爲ス者アリ唯乾燥ノ地ニ生スル者ハ莖葉共ニ短小

ニシテ他道ノ産ニ異ナラス其味稍苦 **和尚菜** 「ノブキ」又「ザゼン」サウ」山 足陰地ニ生ス八月花開

ク **馬蘭** 「コンギク」札幌邊山野 **東風菜** 「シラヤマギク」山野 **アキノヨモ**

ギ 札幌邊路傍及ヒ 荒蕪地ニ生ス **アキノキリンサウ** 山野ニ生ス 八月花開ク **旋覆花** 「オグル

「トウシナ」函館札幌等原野 微カセンサウ 錢函余市函館等海濱 豨蕨

濕ノ地ニ生ス八月花開ク

モミ土言「ウレグレキ」札幌邊 蒼耳 「ラナモミ」札幌石狩 著草 「ノコギ」

中ニ生ス毛茸多少ノ二種アリ

又「ハコロモサウ」土言「イナウナキナ」原野ニ生ス七八月ノ頃花開ク花紅白

二種アリ又一種葉細長ニシテ周縁ニ細齒アリ狀舌ノ如シ花瓣八片ヨリ

十二片ノ者アリ白色

ニシテ瀾大ノ者アリ

コハマギク 函館邊岩石上ニ

ギク土言「ライカメイキナ」又「ラタラロシウシム」

艾 「ヨモギ」土言「ノヤ」多ク

ニ「微濕」ノ地ニ生ス八月花開ク土人葉ヲ食フ

至ル當道ノ馬夫夏月他草ト共ニ刈

貯ヘテ冬月中牛馬ノ食料ト爲ス

牡蒿 「オトコヨモギ」土言「クツタリ」又

月花 蒼藺 「イヌヨモギ」札幌函館等山

開ク

白蒿 「シロヨモギ」土言「カムイノヤ」

函館支笏其他海濱近キ所ニ

腹痛ヲ治ス ヤマハ、コ

札幌邊山野微濕ノ地

萩 「カハラハ、コ」札幌

邊河津沙地ニ生ス

ガシクビサウ 山中陰地ニ生

天名精 「ヤブタバコ」土言「イケレキ」

ウサ

ギツク 山中ニ生ス

タウケブキ 岩山ニ生ス八月花開ク葉吾ノ花ニ

似タリ穂頂唯葉吾花ノ如ク平面ヲ

如クニシテ露齒アリ

メダカラカウ 「コタカラカウ」土言「スツブ

モミ

チガサ 「モミヂサウ」土言「シトケ」山中

「ベツク」山中陰地ニ生ス高六七尺ヨリ丈餘ニ至ル葉ノ形矢ノ如ク瀾

大幅尺餘八月花アリ「タマブキ」花ノ如シ仙臺南部ニテ其末莖ヲ折リ瀾

テ食ス土人亦希

劉寄奴草 「ハンゴンサウ」方言「ヘビアサ」又「ナ、ッパ」土

ニ食スル者アリ

ベクツタラ多ク山野ニ生ス高六七尺ヨリ丈餘ニ至ル土俗言「此草多

ク生スル處必ス沃壤ナリト故ニ新ニ地ヲ撰フモノ能クコ、ニ注目ス

ベシト土人嫩莖ヲ食フ又石狩邊ノ土人此ヲ「ベカン」ト稱ス

ルハ其花ノ盛ナル時菱實（ベカン）漸ク熟スト菱實ハ此邊ノ土人常食

トスル者多

エゾナグルマ 土言「シラキナ」又「ボロヤキナ」海濱ニ生ス「ワ

ケレハナリ

テ齊シカラス八月頃莖頭多ク枝ヲ分チ

ヒメヒゴダイ 山中陽地

花ヲ開ク狗舌草ノ如ク黃瓣黃心ナリ

ズキツ子アザミ 原野陽地及ヒ耕地ニ生ス「キツ子アザミ」ニ略似テ

葉ノ缺刻深カラス周縁刺毛アリ橢圓ニシテ披針

ノ如シ兩面纖軟白毛アリ莖枝ヲ分テ直生スル「四五尺花」タ

ムラサウニ似テ小其色暗紫ニシテ雌雄花各其株ヲ異ニス

雞頂草

「サハアザミ」多ク原野濕

小薊 「ノアザミ」土言「アンザミ」又「イワユカリ」多ク

地ニ生ス八九月花開ク

午莠 「ゴボウ」土言「セタコロコ」好テ路傍ニ生ス其根圓ミ

此地薊ノ類七

八種アリ略ス

大丁草 「センボンヤリ」山

野蔓菁 「ヤブタバコ」札幌

毛

珠虹田地方ノ

山萵苣 「アキノ、ゲシ」札幌邊叢林

ヤマニ

連菜 「カウソリナ」多ク原野

中陰地ニ生ス

八月花開ク

二十

ガナ「ヒロハノムラサキニガナ」札幌
邊山足陰地ニ生ス八月花開ク

地ニ生ス 蒲公英「タンポポ」土言「コマ」
ウボ」土人之ヲ食ス 黃瓜菜「ニガナ」原野陰林中ニ
生ス六七月花開ク 剪刀股

「ツルニガナ」又「ヂシバリ」札幌邊河側沙地
及ヒ路傍ニ生ス「イハニガナ」亦之レアリ ハマニガナ「ハマイテウ」函館
ニ生ス七八月花開ク

チジヤウナ 石狩函館等海邊ニ生
ス八月黄花ヲ開ク ヤナギタンポ、
「木タンポ」札幌邊叢林中ニ

生ス八月花開ク

山梗菜「サハギ、ヤウ」水邊澤
地ニ生ス八月花開ク

梗菜科

桔梗 「キ、ヤウ」土言「ムケカシ」函館
梗野當線等ニ生ス八月花開ク

桔梗科

羊乳 「ツルニンジン」土言「ムツクイ」又
「ムフベ」山野陰林中ニ生ス七八
月花開ク土人「バアソブ」札幌邊
濕地ニ生ス日本產物志ニ形狀大約羊
乳ノ如クナレモ苗葉共ニ小ニシテ葉
卷セテ外面縁白色ニシテ網條ナク内
面紫斑アリ

山小菜 「ホタルブク」又「ツリガ

子サウ」函館近傍林間ニ生ス七八月花開ク
タニギ、ヤウ 札幌邊林中陰地ニ生ス六七月花開ク
イハギ、ヤウ 駒嶽其他高山巖石ノ間ニ生ス
沙參 「ツリガ子」ニンジン」方言「ヌノバ」土言「チマテ」
ト爲ス一種海邊ニ生シ 杏葉沙參 「タウシヤジン」又「マルバニンジン」
全体ニ白毛アル者アリ 山野陰地ニ生ス七八月花開ク

石南科

ツルコケモ、 「アカモノ」土言「カタム」山中草皮中ニ生ス常緑小灌木ニシ
テ傾臥叢生ス葉ハ橢圓ニシテ卵ノ如ク背粉白色ヲ帯ヒ

周縁反卷ス梢頭ヨリ一或ハ二三ノ花梗直上ス其長一寸許毎頂一小花
ヲ下垂ス花瓣四裂シ狀車輪ノ如ク終ニ彎曲ス色淡紅實圓ニシテ十月

頃紅熟ス其味酸甘ナリ アクシバ 山中ニ生ス形狀「スノキ」ニ類ス花ハ葉腋ニ著
味酸甘ナリ

雌ア 越橘 「イハモ」又「コケモ」土言「ニボツケ」山頂或ハ岩間ニ生ス十
リ 勝國大津内ニ多シ六月花アリ八九月圓實紅熟ス其味酸甘ナ

スノキ 「スイバ」又「ウスノキ」渡島石狩等ノ山中ニ生ス小灌木ニシテ
高一二尺ヨリ四五尺ニ至リ地ニ匍匐シ葉ハ卵ノ如ク橢圓

ニシテ殆ント柄ナシ頭微尖周縁缺刻鋸齒ノ如ク鋸齒ニ鬚アリ葉背茸
毛アリ五六月枝端ニ二三花ヲ著ク莖アリ開ク久カラスシテ落ッ葉背茸

鐘ノ如ク唇五裂シ色淡紅實圓ク 山茶科 「リヤウブ」渡島國中ニ生ス
味酸甘食スヘシ葉亦酸味アリ

垂ス諸國山民 シラタマノキ 惠庭岳駒岳惠山熊ヶ岳等
嫩葉ヲ食フ 高山ニ生ス七月花開ク 木藜蘆 「ハナ

ニシテ

ノキ土言「ラビシヤ」又「アテナシ」函館札幌厚岸三石
山中ニ生ス枝葉俱ニ味辛辣之ヲ嗅ハ忽チ嘔ル
ヒメシヤクナゲ

「ニツクワシヤクナゲ」幌内
邊湿地ニ生ス五六月花開ク
ヤウラクツ、ジ
幌泉禮文華山中ニコ

ヤウラクモ 山中ニ生ス
イハヒゲ 惠庭岳其他高山絶頂巖石
シロシヤ

クナンゲ 土言「リヤハムシ」様似禮文華等ノ山中ニ生ス高丈餘ニ過ス
稍心臓ノ状ヲ成ス石南葉
ノ鋭尖ナルカ如クナラス
キバナシヤクナンゲ 鬱金嶽其他高山ニ

葉ハ橢圓ニシテ本狭ク花ハ淡黄色枝頂ニ
生ス小矮灌木ナリ
山躑躅 「ヤマツ、ジ」札幌岳
其他山中巖隙ニ生

ス六月 花開ク サハテラシ 「ヒカゲツ、ジ」様
似山道ニ生ス
イソツ、ジ 「エゾシヤクナゲ」
又「ヒメシヤクナゲ」

「樽前惠山」マツノキハダ 「ホツ、ジ」深山ニ生ス二種アリ一ハ剛壯
其他ニ生ス
直生シ枝頂ニ短穂ヲ出シ數花ヲ綴メ紅

鹿蹄草 「イチヤクサウ」山中陰
地ニ生ス七月花開ク

細葉鹿蹄草 「ムメ
ガサ」

ト云フ者アリ樽前「シノ」等ニ生シ細葉鹿蹄草ノ如クニシテ剛強

葉ハ筵ノ如ク露齒甚タ鋭ナリ
水晶蘭 「ギンリヤウサウ」又「ユウレイサ

花梗四七花ヲ綴メ其色肉色
ウ」常山溪様似其他深山陰地ニ

ス生

岩梅科

フキヅメサウ 「イハム」樽前山函館
山等岩石ノ間ニ生ス

豆兒科

水豆兒 「タヌキモ」函館札幌等池澤中
ニ生ス七八月黄花ヲ開ク
ムラサキミ、カキグサ 幌内邊
谷地ニ

生ス「ミ」カキグサニ似テ高僅ニ三寸莖ニ葉ナク鱗五六片
互生ス莖頭一二ノ紫花ヲ開ク「ミ」カキグサノ花ニ似タリ

櫻草科

クリンサウ 方言「シチカイサウ」山野陰濕
ノ地ニ生ス五六月花開ク
ユキワリサウ 様似山道ニ生
ス五月花開ク

エゾノイハザクラ 「ユキワリサウ」ト共ニ生シ又同時ニ花開ク全形
亦「カツコサウ」ノ如ク圓ニシテ缺刻「ヅダヤシ」ノ葉ニ似タリ靜内邊一
種「ハクサシ」コザクラト云フ者アリ土人之ヲ「サン」ノト稱ス六月花

開ク
ヤナギトラノヲ 札幌函館等水傍湿地ニ生ス莖高一二尺葉背花
梗共ニ軟毛アリ葉ハ無梗ニシテ披針ノ如ク

對生ス根本ノ數葉鱗片ヲ成シ葉面無數ノ細黒點アリ花ハ卵形ニシテ
密穂ヲ成シ莖ノ中部二三對葉ノ腋間ヨリ出ツ萼瓣共ニ黒點アリ

密穂ヲ成シ莖ノ中部二三對葉ノ腋間ヨリ出ツ萼瓣共ニ黒點アリ

六裂或ハ七裂單片細長 ツマトリサウ 札幌邊陰林中ニ
ニシテ淡黄色ヲ帶ブ 生ス六月花開ク 珍珠菜 「オカ
ノヲ山野ニ生ス クサレダマ 「イワウサウ」札幌
六七月花開ク 邊濕地ニ生ス コナスビ 札幌邊陰濕
花開ク

齊墩果科

ハンウンボク 「オホマチシヤ」方言「ハビロ」土言「クウト」深山陰濕ノ地ニ生
三尺葉大ニシテ圓頭一尖或ハ三尖周縁粗刻ノ鋸齒アリ葉背絨毛アリ
花枝端ニ著キ梗穂ヲ成シ攢簇ス皆穂頭ニ向テ開ク其形齊墩果花ニ似
テ白色大ニシテ美觀ナリ材質堅硬粘力アリテ彫刻鑿器ニ
宜シ土人小器具ヲ作ルニ多ク此樹及ヒ「イタヤ」等ヲ用フ

狗骨科

アヲダモ 土言「イワ」山中ニ多シ高三四丈ニ至ル葉ハ魚鱗ノ狀ヲ成シ
小葉二三對生シ或ハ橢圓或ハ長圓披針ノ如ク頂細尖長二三
寸幅七分乃至一寸許周縁ニ鋸齒アリ實ハ翼果ニシテ長七八分形稍細
長ニシテ少シク扁匙ノ狀ヲ成シ頂ニ微凹アリ木質白色密理ニシテ薪
炭ニ供スヘシ土人女子ノ飾ヲナス此枝ヲ伐リ炷リテ疵ニ當テ
即チ染ム又此樹生ニテ能ク燃ユル故ニ方俗土人ノ附木ト稱ス ヤチ
ダモ 土言「ベシ」又「ビシ」下濕ノ地ニ生ス七八丈ニ至ル材質白
色微黃正理粗潤堅硬ニシテ粘力アリ且ッ水ニ耐フ故ニ船艦ト爲

スヘク最モ樞樞ニ宜シ且ッ又農具ノ柄ト爲スヘシ其
木理正ニシテ析キ易シ故ニ長杆ト爲シ垣ヲ結ニ宜シ ハシドイ 方言
カンバ」又「ド」スナラ」土言「ブンガウ」界下陰濕ノ地ニ生ス落葉小木ニシテ
高四五丈圍三四尺ニ至ル木皮眞樺ニ似テ粗ナリ長大ナルニ及ンテ
裂シ自ラ剝落ス葉卵圓ニシテ頂銳尖下體較圓ナリ周縁細微毛ヲ帶
ヒ柄アリテ對生ス六七月ノ頃梢上ニ長梗ヲ抽ク尺許多ク枝梗ヲ分
チ細白花ヲ攢簇ス香氣アリ形女貞花ノ如ク單瓣ニシテ四裂シ狀漏斗
ノ如シ萼ハ頗ル少ニシテ齒アリ雄蕊二個アリテ其下部瓣ノ基ニ著ス
長サ瓣ニ倍ス後覆果ヲ結フ長圓披針ノ如ク オホバイボタ 松前方言
ニシテ稍扁ナリ種子ハ平扁ニシテ翼ヲ有ス
尾土言「リ」タン子」水蠟樹ノ一種大葉兩頭尖銳ノ者ナリ多ク濕地ニ生シ
高凡四五尺葉女貞ニ似テ冬月凋落ス六七月枝端穂ヲ出ス枝アリテ小
白花ヲ攢簇シ狀圓錐ノ如ク長一寸或ハ數寸ニ
至リ一枝毎トニ苞ヲ附ス實水蠟樹ニ似タリ

夾竹桃科

水甘草 「チヤウ」サウ」茨戸邊濕
地ニ生ス七月花開ク バシクルムン 土言「ナリ」羅甸「ア」ボシナ
ニ生ス草木ニシテ且瀦木ノ狀アリ直生シテ枝ヲ分ク高四五尺葉ハ卵
樣橢圓鈍頭ニシテ微凸柄アリ對生ス花ハ梢ニ著ク繖ノ如ク繖形
ノ數小花ヲ綴ル萼五裂狀披針ノ如ク粉甘アリ實ハ莢ニシテ一花ニ
類ヲ生ス長三寸餘皮ニ絲アリ甚タ強韌今土人用ル所ヲ知ラステ一花ニ
其土言アルヲ以テ考フレハ其用アルヲ知ルヘシ北亞米利加ニ同屬ノ
者數種アリ皆纖維ヲ出ス該地土人ハ其皮ヲ以テ索繩其他ノ用ニ供ス

白前科

蘿藦

「ガ、イモ」土言「オヤツ子」山野ニ生ス七月花開
ク藤皮中白絲アリ甚強ク釣綸ト爲スベシ
野林中皆生ス土人常ニ根ヲ燒キ食フ其味甘美松前ノ俗藥トナス馬ノ
諸病ニ用テ効アリ夷中ノ瓦礫ナリ土人何病ニテモ腹用シ即効アリト
云能ク酒毒及魚毒ヲ解シ又金創
瘡痛腫物ニ粘スルニ速効アリト

牛皮消

「イケマ」又「コサ」
土言「ヌマブ」山

龍膽科

石龍膽

「ハルリンダウ」又「コケリンダウ」
札幌邊樹陰ニ生ス五月花開ク ツルリンダウ 山中叢林ニ生
ス八月花開ク エ

ゾノアケボノサウ

土言「テブシベ」札幌邊湿地ニ生ス
葉彈牙菜ニ似テ溜大且五
細道アリ花實異ルヲナシ ハナイカリ 山中湿地ニ生ス
睡菜 「ミツガンハ」札幌
邊谷地ニ生

ハナシノブ

札幌邊水傍陰地ニ多
ク生ス六月花開ク

花荵科

旋花科

藤長苗

「オホヒルガホ」土言「ケニ」山野ニ
生ス七月花開ク 紅白ニ種アリ ハマヒルガホ 方言「アメフリ」バ
釧路砂地ニ生ス
菟絲子 「子ナシカツラ」札幌邊河側ノ小柳艾其
他ノ草末ニ纏ヒ寄生ス七八月花開ク

紫草科

スナビキサウ

「ハマムラサキ」岩内函館等ノ
海濱ニ生ス七八月花開ク 紫草 「ムラサキ」多ク山野エ

ライバブシ

土言「ナリ」又一名「ホノイ」
岩内紋別函館等海濱ニ生ス
春末宿根ヨリ苗ヲ生シ

オホルリサウ

札幌函館等路傍及ヒ叢林
中ニ生ス七八月花開ク ウリグサ

オホカバサウ

「ハカハ」多ク

茄科

茄

「ナス」寛政二年初テ白糠川等ニ種ユ豊部内
ニ産スルモノ殊ニ佳品ナリ今各地ニ播種ス 龍葵 「イヌホ」ツキ土
チ「エト」耕及ヒ 白英 「マルバ」ノホロシ札幌茨
路傍ニ生ス八月花開ク 戸函館等湿地ニ生ス 蜀羊泉 「ヒヨドリ」

白英

「マルバ」ノホロシ札幌茨
路傍ニ生ス

蜀羊泉

「ヒヨドリ」

札幌近山樹陰ニ生
 馬鈴薯「シヤガタライモ」又「ゴシロイモ」
 洋種數品アリ皆善ク土ニ適ス
 酸醬「ホ、ツ」
 「チウコマウ」札幌邊多
 イガホ、ヅキ 方言「イシホ、ヅキ」常
 烟草「タバコ」
 政文化ノ頃試ニ東部山越内禮文華蛇田等ノ地ニ種ユ又東蝦夷地處々
 土人ノ培植スルアリ成長可ナリ又札幌ニテ試ルニ成長可ナリト雖
 其質下 番椒「タウガラシ」方言「ナンバン」東蝦夷地ニテ稀ニ作ル辛辣
 品ナリ 同ノ加味トナ
 ス者アリト云

玄參科

桐「キリ」七重札幌小樽等へ移シ種ニ成長可
 ウンラン 方言「キツ子ベンケ
 ナリ日高國ニ自生アリト云最モ疑ハシ
 トマバキ「海濱沙地」
 山玄參「ロナノウスツボ」土言「カトバ」岩内
 ニ生ス七月花開ク
 ズキ 水邊濕地ニ生ス一種「オホバナ」ノミツホ、ヅキト云者札幌邊
 水邊濕地ニ生ス全形「ミツホ、ヅキ」ノ如クニシテ稍大葉無梗花梗葉ヨ
 リ短ク色黄「ミツホ、ヅキ」ノ似テ大ナリ
 草本威靈仙「クガイサウ」山野ニ
 ツキニ似テ大ナリ
 鬼兒尾苗「ルリ
 ノラ」土言「シウカリキナ」札幌余
 ヒヨクサウ 函館邊山腹陰地ニ
 市其他ニ生ス七八月花開ク
 マ、コナ 石狩河口邊ノ叢中
 蒿「シホガマギク」石狩岩内其他海
 濱草叢中ニ生ス八月花開ク

蠅毒草科

ハイドクサウ 札幌邊林中ニ生
 ス七月花開ク

馬鞭草科

紫珠「ミムラサキ」又「ムラサキ」キブ「方言「コメノキ」多
 ク函館邊ニ生ス七月花開キ十月實熟シテ紫色
 海州常山「クサキ」土
 アサ「山野」共ニアリト雖山足陰地ニ生スル
 薔「カリガ子サウ」又「ホカケ
 者殊ニ喬大高殆ト三丈ニ至ル八月花開ク
 ス

唇形科

ヤマハクカ 札幌函館等山野ニ
 テンニンサウ 「イトカケサウ」札幌石山
 生ス七八月花開ク
 香薷「ナギナタカウ」土言「エント」札
 幌邊道傍溝中ニ生ス九月花開ク
 薄荷「ハクカ」又「マダサ」札幌邊
 地瓜兒苗「シロイヌ」子
 又「ロメ」子
 兩種共ニ札幌邊
 ナ ミヤマトウバナ 共ニ札幌邊山野陰地
 ニ生ス七八月花開ク
 風輪菜「クルマバナ」札
 幌邊林中ニ生
 ス七月花開ク
 爵牀「イヌカウ」土言「エント」函館邊路傍
 溝中ニ生ス九月花開ク
 排草香「カハミドリ」土言「ムケカ
 花開ク

開紫蘇「シ」天明寛政ノ時試ミニ長
ク 萬部ニ播ス今各地ニ種ユ

布森等ニ生ス 連銭草「カキドホシ」處
七月花開ク 々路傍ニ生ス 滁州夏枯草「ウツボクサ」多ク山

花開ク タツナミサウ 札幌邊湿地ニ生
ス六七月花開ク ナミキサウ「ルリタツナミ」多

ニ生ス七ヒメタツナミ 札幌邊山足陰濕ノ地
月花開ク 鈴子香「シヤカウサウ」土言「ムトカウ

ケヤ」札幌函館佐瑠等 イヌゴマ「チヨロギダマシ」土言「キヨス
ニ生ス七八月花開ク ツ」叢林中ニ生ス七月花開ク 鑿菜「キ

ワタ」札幌邊路傍ニ 續斷「オドリコサウ」札幌其他路
生ス八月花開ク 傍ニ生ス六七月花開ク カヒジンドウ「キ

バノジニウニヒトエ」多ク札 金瘡小草「キラシサウ」札幌邊山
幌邊林中ニ生ス六月花開ク 中ニ生ス六月花開ク

車前科

車前「オホバコ」方言「マルゴハ」土言「エルムキナ」好テ道傍ニ生ス一種葉狹ク
シテ毛茸アル者アリ此「エゾオホバコ」ト云者ナリ又一種大葉ノ者ア

リ「唐オホバ
コ」ナラン

雙子葉無瓣花

商陸科

商陸「ヤマゴボウ」方言「トウゴボウ」山野及
ヒ耕地ノ側等ニ生ス八月花開ク

藜科

藜「アカ
ザ」 灰藿「シロサ」土言「シロシキナ」札幌邊路傍
及ヒ荒蕪地ニ生ス八月九月花開ク ハマアカザ 土言「ヲタカ

岸海濱 地膚「ハ、キ」札幌松前 ナカヒジキ「ミルナ」方言「ハマミル」土
ニ生ス 等荒蕪地ニ生ス 言「ヲタアンザ」多ク海

瀨砂地
ニ生ス

苧科

雞冠「ケイ
トウ」 雁來紅「ハゲイ
トウ」 千日紅「セン
ニチサウ」處
庭園ニ移種ス 野苧「ノビエ」又「イヌ

生ス

蓼科

羊蹄「ギシギシ」又「ノダイワウ」土言「シユナバ」微濕ノ地ニ生ス 當道
ノ産極テ肥大蛇田ノ土人秋後其實ヲ取り粥トナシ食ス 酸模「ス

各地皆アリ葉莖食スヘシ 蕭蓄「ニハヤナギ」又「ミチヤナギ」札幌邊林中
及ヒ路傍ニ多ク生ス牛好シテ此草ヲ

食ス 藍「アヅ」寛政ノ初試ニ浦河様似等 金線草「ミヅヒキ」原野陰濕ノ
地ニ生ス八月花開ク 馬蓼

「イヌ」サナヘタデ「ナツ」オホイヌタデ タニソバ 又カボタ

デ皆札幌邊濕地ニ生ス 苦蕎麥 「ミゾ、バ」濕地ニ生ス八月花開ク 杠板歸 「イシミカハ」土言「ウン」登別札幌邊

河畔ニ生ス マ、コノシリヌグヒ 札幌邊濕地ニ生ス ソバガツラ 札幌邊林中微濕ノ

地ニ生ス 虎杖 「イタドリ」函館邊ニ生ス一種虎杖ニ似テ大高丈餘ニ至ル者

タル又「シツク」ト云フ葉潤大稍虎杖葉ニ似ルト雖正葉本心臓ノ形ヲ成シ背粉綠色早春芽ヲ生ス獨活ノ如ク赤色ニシテ美ナリ土人ノ之ヲ

食ス其味酸淡又實ヲ取リ貯ヘ魚油ニ和シ糞テ食ス其葉濕瘡ニ宜シト莖ハ竹木ニ代用シ藩籬ト爲ス又一種畔ノ下邊ニ生スル者ニシテ葉稍

狭ク木截レ末尖リ背ニ灰白 蕎麥 「ソバ」寛政二年初テ各地ニ移シ色ノ軟毛ヲ密著スル者アリ 又山越内近傍ニ土人播種ス

瑞香科

ナニハヅ 土言「エトハムシ」多ク山野林中ニ生ス「オニシバリ」ニ似タリト雖正其葉較潤大且鈍頂ニシテ梢頭黃花ヲ攢簇シ香氣アリ内

皮以テ紙ヲ製スヘシ カラスシキミ 「ヤマシキミ」共ニ方言ナリ札幌邊山中陰地至テ實熟ス圓ニシテ色紅内皮以テ紙ヲ製スヘシ蓋他道ニ云フ白瑞香「コセウノキ」ナランカ

槲寄生科

槲寄生 「ヤドリキ」又「ホヤ」札幌邊樹及ヒ赤楊等ニ多ク寄生ス一種赤實ヲ結フ者アリ形狀樹寄生ニ異ナラス唯葉實共ニ小ナリ

胡頹子科

アキグミ 「カハラグミ」方言「サクミ」土言「ラマウクシユニ」多ク河側叢林中ニ生ス土民實ヲ採リ食フ

樟科

クロモジ 方言「トリキシバ」又「トリシバ」土言「クンチラマク」ムラダチ「ア」ラチヤン「土」言「ヘウチキ」ナ「函館」大野村邊ニ生ス

馬兜鈴科

細辛 「ウスバサイシン」土言「キササルベイ」宗谷ヨリ廣尾ニ至ルノ間山中ニ生ス氣味辛香藥用ニ宜シ

大戟科

草薺茄 「ノウルシ」札幌邊山中陰濕地ニ生ス六月花開ク 甘遂 「ナツタウダイ」山野陰

ズリハ 石狩國渡島國其他山腹陰地ニ生ス小灌木高三四尺ニ過ス單幹ニシテ皮色黒褐ナリ葉ハ楠葉ヨリ較小其形或ハ長圓披針

ノ如ク或ハ倒卵披針ノ如クニ フツキサウ 「キチジサウ」土言「ユキトバ」シテ微ク尖ル楠ノ一種ナリ ナ「札幌」輪轉長萬部等山

穀斗科

櫛 「カシハ」土言「ゴムニ」多ク山野陽燥ノ地ニ生ス其高「コナラ」方言「イシナ」各地差アリト雖平均三四丈トス屋材ニ適セス「ラ」土言「ペロニ」多ク山足原野ニ生ス高五六丈圍六尺ニ過ス葉ハ橢圓或ハ長圓披針ノ如ク有梗ニシテ長三四寸幅一二寸周邊鋸齒アリ葉脈平行シテ七對ヨリ十二對ニ至ル薪炭ニ適シ又椅子水「オホナラ」多ク山腹以下較平坦ノ箱體櫛等ニ用ヒ又用テ香蕈ヲ製ス

オホナラ 「ミヅナラ」土言「トシニ」地ニ生ス高凡五六丈葉ハ殆ト無梗ニシテ倒卵ノ如ク又長圓ノ者アリ長五六寸許幅二寸乃至二寸五分葉頭尖銳稍々心臓ノ形ヲナシ周邊粗大ノ鋸齒ヲ有ス鋸齒或ハ重齒ヲ有スルアリ葉脈直走シテ十一對ヨリ十七對ヲナス材ハ薪炭トナシ櫛ニ勝ル又臼ト爲スヘシ當道麥酒釀用ノ櫛桶等ハ多ク栗「クリ」土言「ヤム」ニ夕張郡茅部郡等ノ産出最モ多シ川越ク此材ヲ用フ内ノ如キ元來此木多キニヨリテ名ク大樹ナク「シバカ」リナリ實小ニシ

山毛櫛 「イヌブナ」又「シロブナ」土言「セタン」ニ山中ニ生テ味頗美ナリ

山毛櫛 「イヌブナ」又「シロブナ」土言「セタン」ニ山中ニ生テ味頗美ナリ

ニ渡島膽振兩國殊ニ多シ高七八丈ニ至ル材質微赤木理較疎ニシテ堅硬粘力アリ巨蓋盈碗ノ類ニ多ク此材ヲ用フ又松籠家居材柴薪等ニ供スヘシ土人巨櫛ヲ削テ舟トナス實ヲ採リ糞ヲ食ス味ヒ栗ノ如シ或ハ實ヲ搾リ油ト爲ス此木ニ生スル菌ヲ「ブナタケ」ト云大毒アリ

シバ 「サハシデ」山腹ヨリ以下較平坦ノ林中ニ生ス高五六丈ニ至ル葉寸餘實亦「シデ」ノ如クニシテ稍長大共ニ形「カラハナサウ」ノ實ニ類ス材色淡褐質堅硬ニシテ輕ク諸物ニ用フヘク又薪炭トナシテ最モ良シ香

胡桃科

山胡桃 「オニグルミ」土言「チシロ」好テ山野水濕ノ地ニ繁生ス石狩十勝ニ國ニ甚多シ材暗褐色疎理ニシテ稍輕ク彈力アリ銃柄ニ適ス又諸器具ト爲シテ美ナリ又樹皮ヲ煎テ魚網ヲ染メ實「エヌム」ハ土人ノ食用ト爲ス

陳倉胡桃 「ヒメグルミ」渡島國山中ニ生ス

ハグルミ 「カハグルミ」方言「ヤス」土言「チベ」

樺木科

樺木 「シラカバ」シラカン「バ」方言「ガン」土言「キイ」タチニ「山野」ニ生ス根室管内最多シ高五六丈ニ至ル樹皮横理ニシテ粉白色脂ヲ含ム多シ故ニ土人火炬ノ料ト爲ス材ハ諸用ニ供ス就中匣箱樽桶等ニ宜シ又此樹ニ生スル耳ヲ「アヘ」ヲツカルシト云ヒ引火ノ料ト爲ス一種「ウダイカン」ト云者

マカバ 方言「ヤチカバ」土言「タチニ」多ク山中ニ生ス石狩川上アリ

易キニ似ス土人以テ屋ヲ覆ヒ又曲テ杯椀ヲ造リ其

サイハダ 方言「ク」他用ル所多シ蓋他道ニ云「ヨクソ」ミバ「リ」ナラン

山中ニ生ス樺木ノ一種高三四丈葉大長三寸ヨリ三寸五分幅二寸五分ヨリ三寸卵形葉本心臓ノ狀ヲ成シ縁邊鋸齒アリ實ハ樺木ノ實ニ似テ

較長大三寸餘ニ至ル者アリ常ニ一梗ヨリ二三個ヲ叢
生ス材質密ニシテ滑澤ナリ器具ト爲シ又柴薪ニ宜シ
深山林中濕地ニ
生ス瀝木ナリ
ミ子バリ
野ニ生ス材理美密堅硬ニシテ粘カアリ雪
車槽杖棒
等ニ宜シ
赤楊
ノ地ニ生ス薪炭ト爲シ最モ可ナリ又潮水ニ耐ルヲ以
テ船艦ノ材ニ供ス内皮及ヒ
實(ヤシヤブシ)ヲ染料トス
ヤマハンノキ
方言「ハンノキ」土言「ケニ」
又「ケボ」山中濕林中ニ生シ
高五六丈葉ハ潤クシテ卵圓頭尖リ木圓ク縁邊粗齒アリ葉背灰色ノ微
毛アリ長四寸幅三寸許木理榭ノ如ク色淡紅水濕ニ耐ヘス朽ルヲ速ナ
リ但薪炭ト
ナスヘシ

楊柳科

オホバヤナキ
山野陰濕ノ地ニ生ス高水楊ニ比スレハ稍大葉ハ長橢圓
披針ノ如シ長六七寸幅二寸三分餘頭尖リ縁ニ小齒アリ
面綠色背白色毛アリ六月葉萎花葉ト共ニ生シ數日ヲ過スシテ長スル
四寸許材質淡褐色ニシテ輕ク肌理微密殊ニ潮水ニ耐フ故ニ船材ニ適
ス巾箱及床間ニ
水楊
「カハヤナギ」又「カハラヤナギ」土言「シユ々々」多ク河
用テ雅致アリ
岸ニ生ス大材少シ高キモノハ三四丈ニ過キス木
質白色ニシテ心部淡褐ヲ帶フ肌理稍密ニシテ柔軟ナリ其効用莖及
ヒ組板其他器具曲物等ニ用フヘシ近來又露木ニ用フ然ルニ白楊ニ及
ハス土人枝ヲ削テ花ヲナシ諸神ニ供ス是ヲ「イナヲ」ト云北海道楊柳ノ
種類多シ其大小一ナラズ或ハ數丈ノ高ニ至リ或ハ僅尺ニ滿タサル者

者アリ今コ、ド口
「デロ」共ニ方言「ライニ」又「ヤイニ」全道皆アリ就中石狩
ニ一々セス
平原及ヒ膽振國勇拂川上流ニハ巨樹多シ其最モ長
大ノモノハ高七八丈樹幹端直ニシテ上聳ス性濕潤ヲ好ミ河岸蔭地ニ
繁殖ス葉ハ倒卵長橢圓或ハ廣橢圓頭ハ微ク尖銳ニシテ扭捩シ基脚ハ
鈍圓ナリ縁邊細鋸齒アリ面ハ綠色ニシテ平滑背ハ白色ヲ帶フ葉柄長
シ花ハ雌雄各樹ヲ別ニス春葉ニ先テ開キ葉萎花ノ狀ヲナシ雄花ハ少
ク紅色ヲ帶ヒ形「ハコヤナキ」ノ花ニ似ル花粉ヲ倒出スル後久カラシ
テ縮落ス雌ハ菜黄花漸ク成熟シテ長七八寸ニ至ルアリ果實粗ニ花軸
ニ附キ熟スレハ四裂開展シテ種髪アル種子ヲ擺出ス種髪ハ種子ノ梗
部ヨリ叢出シ果中ニアリテハ種子ヲ套包シ出テハ其飛散ヲ助ク材質
ハ白色ニシテ柔軟ナリ近來隘木製造ニ多ク此樹ヲ用フ箱篋類其他旋
製ニ用フ可シ往時ハ此樹ヨリ楊枝及白箸ヲ製セリ東夷物産誌ニ「ヤイ
ニ」ハ「ヒロ」ノ土言ニテ軟木ノ義、鉛ヲ「ヤイカ子」ト云カ如シト按ルニ其
樹矮短其形圓錐其質頗ル平滑ナルヲ以テ考ルニ「ドロ」ハ紡績ノ用ニ
充ツルニ足ラサルヲ明ナリ然レモ坐蒲團或ハ椅墊ニ
充ツヘク或ハ印肉又ハ紙ヲ製スルニ用ヒテ可ナラン

裸子植物

松柏科

赤松
「アカマツ」又「メマツ」函館管下處々ニアリト雖モ皆移植ニ係ル昔ヨリ
全道自生ノ者アルヲ聞カス明治十三年開拓使地理課官員勇拂郡樺
前山下蝦夷松林中ニ混シ自生スル者數十本ヲ見ル高十
餘丈圍八九尺ノ者多シト按スルニ東蝦夷日誌亦同シ
五鬚松
「ゴエ

ツ土言「チカフブ」多ク高山ニ生ス大樹ナシ材シモフリマツ高山頂ハ板ヲ作り障子類ヲ製シ或ハ造船内張板トスシモフリマツ上殆ハ在ラサルハナシ高一丈ニ過ス葉ハ五葉ニシテ五鬚松ニ比スレハ稍長ク且葉背頗ル白色ナリ松毬卵圓ニシテ長僅ニ一寸餘鱗片硬厚且ツ潤大ナリ片末ヲ除ク外皆黃褐色片末ハ少シク曲反シ暗褐色ヲ帶フ種子ハ圓形ニシテ扁翅ナシ土人好シク食ス

落葉松「フマツ」又「カラマツ」土言「グイ」東海岸エトロフ殊ニ多ク生ス其材家屋船艦及ヒ諸器具ニ供スヘシ此樹ニ生スル耳ヲ「エブリコ」ト云松前人之ヲ「トウボシ」イラモミ「ハリモミ」渡島國松エヅマツ土言「シユンク」深山中ナルモノ高十餘丈圍丈餘ニ及フ木皮黒褐ニシテ稍赤色ヲ帶フ小枝硬大密ニシテ長カラス葉寸ニ足ラズ葉末尖リ面暗緑背灰色枝ニ著ク稠密ナリ葉痕ノ凸出スル「殊」ニ著シ實ハ長卵圓形ニシテ長二寸許常ニ梢頭ニ著ク鱗片密疊ニシテ薄弱ナリ頂少シク齒アリ材質白色ニシテ中心淡褐ヲ帶フ肌理「ト」ハマツニ比スレハ稍緻密ナリ又乾濕ニ遇フテ「ト」マツノ如ク反張伸縮セス故ニ船艦竝ニ桶ニ宜シ又家屋ノ材ト爲スヘト「マツ」喬大ナリ其大ナル者高十餘丈圍一丈二三尺ニ及フ樹皮青灰色ニシテ皺皺ナシ小枝「エゾマツ」及ヒ樅ヨリ較纖弱ニシテ且長シ葉長寸餘潤僅ニ五釐ニ過ス面淺緑背灰色葉末岐シテ尖ヲナス實ハ椎ノ實ニ似テ長二寸餘鱗片少シク斜方形ヲナシ硬厚ニシテ黒褐色ナリ材質白色柔軟肌理疎潤ナリ家屋器材全道中第一トス然レモ此決シテ木材ニ非ス土人樹皮ヲ**杉**「スギ」函館管下處々ニアリ皆移種ニ係剝キ以テ山中假小屋ヲ葺ク

ハ木理粗ニシテ肌膚潤澤ナシト**羅漢松**「ヒバ」又「アスナロ」方言「ヒノキ」渡島國檜山郡ニナリト木材ハ松維建築其他所用頗ル廣シ**ハヒ子ズ**土言「ヒシユンチ」樹皮ヲ剝テ火繩トナシ或ハ松節ニ作ル

似其他海**アラ、ギ**「イチサ」方言「オン」土言「タラマニ」處々皆在リ殊邊ニアリ

ノ者ニ比スレハ較大ナリ最大ナル者北見國ニ産ス其圍七尺許ニ及フト云木理緻密ニシテ其色代籍ノ如ク漢土所謂淡古銅色是ナリ頗ル粘カアレハ土人之ヲ弓材トス土人又此木ヲ櫛ニ製シ深鏡色ヲ出サシムルニ帆立貝ノ灰ヲ以テ煎ル甚タ妙ナリ此材鉛筆ノ用ニ供スヘシ**粗**

榧「イタガヤ」又「ヘボカヤ」方言「ヒヤウブ」土言「ハナツ」ニ山腹陰地ニ生ス實ヲ搾リ燈油ヲ製スヘシ

單子葉植物

天南星科

半夏

「カラスビシヤク」**虎掌**「ウラシマサウ」方言「ヘビ」ノ函館邊ニ生ス

地湧金蓮

「サセンサウ」又「ダルマサウ」土言「シケレベ」ニ土人搗テ水飛シ澱粉ヲ取り蕎麥葉貝母粉等ト合シ團子ト爲シ食ス

觀音蓮

「ミツバセウ」方言「ベコ」ノシタハ葉ノ狀ニテ云ナリ尤肥大

黑花ヲ開ク

「ベコ」ノシタハ葉ノ狀ニテ云ナリ尤肥大

ナルハ葉ノ長三尺餘ニヒメカイウ 羅甸名「カルラバラストリリス」札
及フ四月白花ヲ開ク 邊谷地ニ生ス形状稍「オランダカ
イウ」ニ似テ小ナリ葉心臟ノ如ク數個簇生シ葉間花ヲ出ス其形又「オラ
ンダカイウ」ノ如クニシテ小ナリ花鞘橢圓末急ニ尖リ内面白色外面淡
綠色ヲ帶フ花柱ハ長橢圓ニシテ小花ヲ密著ス 白菖 「シヤウブ」石狩國
上邊ニアル者即雄花下邊ノ者ハ兩性花ナリ 發寒川ニ自生ア
リ七月
花開ク

香蒲科

香蒲

「ガマ」土言「シキナ」札幌勇拂其他ニ生ス 黑三稜 「ミクリ」方言「ガバ」水澤
土人刈テ以テ「キナ」ニ編ム下品ナリ 中ニ生ス暑中葉ヲ刈
テ除乾シ繩ニ作ル至テ強
シ又莖ヨリ紙ヲ製スヘシ

眼子菜科

馬藻

「サ、モ」ヤナキモ「土言」トウ 大葉藻 「アマモ」方言「ゴモ」海中ニ生ス其成
基シ他道ニテハ其生ナル 者ヲトリ麥ノ肥糞トス 長速ニシテ昆布ノ繁殖ヲ碍ル

澤瀉科

澤瀉

「サジ」オモダカ「又」ナ、ト「土言」ウクルキナ「又」トキナ「澤地」ニ生
ス又函館邊ニ水澤瀉「ヘラ」オモタカ「ラ」生ス七八月花開ク

山蘭科

緣蟾蜍花

「クモ」キリサウ「山中陰地」ニ サイハイラン 札幌函館邊山中樹
生ス札幌嶽七月花開ク 陰ニ生ス六月花開ク

エビ子

山中多ク生ス コケイラン 「サ、エビ子」札幌函館
六月花開ク 邊等山中陰地ニ生ス チドリ

サウ

「テ」ガタチドリ「山中陰地」ニ ツレサキサウ 山中陰濕ノ地ニ
中陰地ニ生ス 生ス七月花開ク ジンバイサ

ウ

「ミ」ツモラン「山中陰地」ニ ミヅトンボ 「アラ」サキサウ「山中濕地」
ニ生ス七月花開ク 生ス七八月花開ク 天麻 「オ

ノヤガラ

土言「ウ」ニシテ多ク山 トキサウ 山野濕地ニ生
野陽地ニ生ス土人根塊ヲ食フ 生ス七月花開ク 朱蘭 「サハラシ」
又「アサヒ

山珊瑚

「ツチ」アケビ「又」ヤマシヤクジ 鬼督郵 「クマ」ガヘサウ「山中
ヤウ」渡島國大沼邊ニ生ス 樹陰ニ生ス七八月
花開ク

鳶尾科

ヒメシヤガ

函館邊 溪蓀 「アヤメ」土言「ヨウ」コテキナ
ニ生ス 澤地ニ生ス七月花開ク

薯蕷科

野山藥 「ヤマノイモ」方言「ジ子ンジョ」土言「フルコツ」土人根ヲ食ス 川算薺 「アルドコロ」又「トコロ」土言「キイテ」生根味苦ク微ニ甘味アリ 土人或ハ燒キ或ハ蒸テ糰ニ充ツ

土茯苓科

牛尾菜 「シホデ」札幌邊山野微濕 菘萁 「サルトリイバラ」函館 札幌邊山野樹陰ニ 生ス六月花開ク ツバメオモ ト 「タウチサウ」山 鹿藥 「ユキザ」土言「チユマレ」山中陰林 邊林中多ク生 ス六月花開ク 一種大藥ノ者アリ 米蘭 「キミカ」ス六月花開ク 函館札幌等 姜蕪 「アマドコロ」土言「エトラツチ」又「エトチ」山 中陰地ニ生ス五月黒紫花ヲ開ク一種白 王孫 「ツクバ子サウ」多ク山野 花ノ者アリ土人之ヲ「キマクナイ」ト云 林中ニ生ス又「クルマバ

八九葉ニ至ル數品アリ

車前葉山慈姑 「カタコユリ」又「カタクリ」土言「エシケツ」原野ニ生ス五月 頃花開ク土俗花葉共ニ摘ミ菹トナシ食ス土人根ヲ食料

トナシ又澱 イトラプ 土言ナリ羅甸名「ガギマル」ノチヤ「原野陽地ニ生

粉ヲ製ス 出ス葉間莖ヲ抽ク「六七寸ニシテ」大小ニ葉ヲ對生ス葉際歧ヲ生ス

ル三四每頂一花或ハ二花ヲ著ク 六瓣アリ披針ノ如クニシテ長四分許

内面黄色外面ハ淡褐色ナリ 満開 クロユリ 土言「アンライル」又「ハル」原

セス土人根塊ヲ貯ヘ食料トス 野濕地ニ生ス土人根塊ヲ

食料ニ 充ツ クルマユリ 土言「ニヨカイ」又「イマキア子」山中陰

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ 卷丹 「オニユ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 採リ食料ニ充ツ

オホバギバウシ 土言「ラクリキナ」濕地ニ生ス七月花開ク
粉條兒菜 「シヤウジヤウバ」石狩國陰濕ノ地ニ生ス五六月花開ク當道ノ産僅ニ五花ヲ以テ房ヲナス通常粉條兒菜ノ十數花ヲ以テナル者ニ異ナリ
ノギラン 「キツ」原野陽地ニ生ス八月花開ク
藜蘆 「シユロサウ」又「ニツク」ワウラシ「土」方言「オホハ」土言「リラレダホ」多ク下濕ノ地ニ生ス六七月花開ク根ニ「ベレトリヤ」ト稱スル劇烈ナル毒質ヲ含ム細末ニシテ以テ殺蟲劑ニ用ヒ最妙ナリ

燈心草科

ミヤマヌカボシ 函館札幌等林中陰地ニ生ス
地楊梅 「スベトノヒエ」原野ニ生ス
燈心草 「井」原野池澤ノ傍ニ多シ
石龍芻 「コヒゲ」下濕及水邊ニ生ス
カウガイゼキシヤウ 札幌邊下濕ノ地ニ生ス

莎草科

水毛花 「サンカク井」渡島國蘆菜沼ニ生ス
蒯草 「アブラガヤ」札幌邊濕地ニ多ク生ス
ハリ井 下濕ノ地ニ生ス
ガウソ 山中濕地ニ生ス
節草 「カウバウムギ」又「ハマムギ」土言「ルウタ者アリ」云
カウバウシバ 岩内函館邊海濱ニ生ス
タヌキラシ 陰濕ノ地ニ生ス
タニスゲ 「カハ

グ」濕地ニ生ス
カサスゲ 多ク札幌邊濕地ニ生ス
シバスゲ 「ヒメヤブスゲ」札幌邊路傍ニ生ス

禾本科

粳 「ウルゴ」古來蝦夷地米ナシ元祿五年東部戸切地ニ初テ墾田シ試ニ播種ス秀實アリ天明八年室蘭浦河様似地方ニ種ニ爾來各地ニ播種スト雖此南東稍ヤ温和ノ地方ヲ除クノ外其氣「菰」ヨク「マコモ」方言「マクゴ」又「シ」候ニ適セサルヤ未タ充分ナル收穫ヲ見ス
菰 「マコモ」方言「マクゴ」又「シ」又「カンサル」多ク池澤中ニ生ス
玉蜀黍 「タウモロコシ」ナンバンキ「ビ」明治以降洋ク池澤中ニ生ス種數品ヲ移ス皆能ク地ニ適シ繁殖ス
ヨシ 札幌邊濕地ニ生ス又耕地ニ生シ其根刈盡シ難シ
茅香 「カウボウ」函館邊其他山野ニ生ス
看麥娘 「スベ」ボウ」耕地ニ生ス
イブキヌカボ 札幌邊山足濕地ニ生ス
稔 「ヒエ」天明八年初テ東地長萬部邊ニ生ス
狗尾草 「エノコ」オホアハ」又「ケアハ」古ヨリ東西地方ノ不足ヲ補フ
梁 「オホアハ」又「ケアハ」古ヨリ東西地方ノ之ヲ白糠ニ種ニ土ニ適シ
狼尾草 「チカラシハ」函館培養セシテ收穫アリ
子ヅミガヤ 「ウシ」札幌邊山ニ生ス
蘆 「ヨシ」土言「キシ」又「シヤリ」多ク山野濕地ニ生中ニ生ス
ンニク 「テンキ」土言「ムリチ」又「ヘイエキナ」海濱ニ生ス土人スバメノ
カタビラ 路傍ニ生ス
コメガヤ 多ク札幌邊山中ニ生ス
苗草 「ミノゴメ」札幌邊原野濕地ニ生ス
サカ

ボカヤ 「ハジカヘリ」札幌邊 箬 「クマザ、」又「ステタケ」ダダケ「土言「トツ」

尺ヨリ丈餘ニ及フ葉瀾ニ寸餘長九寸許鹿好テ食フ又東海岸薄雪ノ地

ニテハ冬月野飼ノ牛馬ニ缺クヘカラサル飼料ナリ土人實ヲ「カムイア

マ」ト云食料ニ充ツ一種積丹竹ト云フ者アリ後志國積丹ニ産ス一名

「ベツコウチク」土人「シリキトツ」ト云フ文竹ノ義ナリ莖ニ紫色ノ斑ア

リテ美ナリ以テ籊 小麥 「コムギ」寛政二年原新介初テ鶴川へ播種シ收穫

管煙管ヲ造ルヘシ 大麥 「オホム」同上 芒 「ス、キ」土言「ラン

ニ需メシ者頗ル多シ皆 芝 「オホム」同上 蜀黍 「セ、ロ、コ

能ク風土ニ適シ繁殖ス キビ」寛政二年初テ 東部各地ニ播種ス

陰花植物

石松科

タウゲシバ 土言「トイシ」シルル 玉柏 「萬年スギ」土言「アコシセ

ヅラ 樽前其他高山 石松 「ヒカゲノカヅラ」深山陰地ニ生ス

木賊科

間蒬 「スギナ」ツクヅクシ 木賊 「トクサ」土言「セビセビ」山

池澤中ニ生ス

羊齒科

カウヤワラビ 「ゼンマイ」シダ「原」クサソテツ 「ガンソク」多ク山

ンダ 函館邊 野濕地ニ生ス 過壇龍 「クシヤクシダ」山

ノ産大ニシテ柔軟他産ニ勝レリ シ、ガシラ 山中ニ ヤマソテツ 方

根ハ「オニシダ」ノ如ク黒色ニシテ硬堅ナリ 鳳尾草 「トラノヲシダ」札幌

シ其狀恰モ鐵蕉ニ似タリ故ニ 邊林中陰地ニ生ス コタニワ

名ク土人苗ヲ採リ燂キ食フ タリ 山腹陰地ニ生ス

水龍骨 「アラ子カヅラ」札幌邊林中ニ生ス イハヤツメ 札幌

中樹皮ニ 薇 「ゼンマイ」土言「トバ」又「トハ」當 瓶爾小草 「ハナヤスリ」札幌

著キ生ス 陰地蕨 「ハナツラビ」原 蕨 邊林中陰地ニ生ス

芝栴科

北 海道 志 卷 三十四 三十六

香蕈 「シヒタケ」抱ニ生スル者ヲ土人「ペロカルシ」ト云ヒ「オホナラ」ニ生スル
ハ味ヒ 落葉松耳 土言「エブリコ」松前方言「トウホシ」土言「シウカルシ」蝦
塊ヲナシ朽木ノ如クニシテ灰色味微苦ニシテ甘酸ヲ帶ヘリ土人
以テ腹痛眼病ヲ治ス効驗アリ擇捉ニ生スル者ヲ以テ上品トナス 榆蕈
「ニレタケ」方言「タモギタケ」土言「ツキサニカルシ」深山茂林中榆樹ノ腐爛
スル者ニ暖氣ヲ得テ生ス狀桑葉ニ似テ叢生ス淡黄色肉厚ク味ハ脆美
上タリ 栗茸 「ヤマカルシ」輕虚ニシテ粉 け子カルシ 赤楊ニ生スル
アヘチクカルシ 一名「タツツ子カルシ」樺木ニ生スル硬木耳ナリ其
ヲ用ヒ火煤トス故ニ 題頭菌 「マロタケ」秋月深山樹下ニ生ス狀大小層
蓋黒ク莖白キ者ハ味最チチコツカルシ 六七月ノ際原野叢生中ノ
佳ナリ濃州ニ所謂「ガヤ」トベニカルシ 「イタヤ」ノ林中或ハ樹上ニ生
クラ茸ノ類ナルヘシ 面緒 「ワカナイ」松前ノ方言ナリ秋末「ブナ」樹ニ生ス形色稍菴菌ニ類シ
褐色 襦色 「ワカナイ」松前ノ方言ナリ秋末「ブナ」樹ニ生ス形色稍菴菌ニ類シ
キタケト云又扁ナルヲ以テ「ヒラタケ」ノ名アリ松前ノ 木耳 「キクラゲ」接
俗「アメマス」又「クストルト」トモ云土人夏月ノ常食トス 網走山中
ニ多シ

海藻科

昆布 「コンブ」ヒロメ土言「シガ子」夏月刈乾シ販賣スルニ其品差等アリ海底
岩石ニ生シ年ヲ經テ長五六尺 五六寸ニ至リ赤色ヲ帶ル者ヲ上品
トシ又赤色ナク厚キヲ其次トシ赤色多キハ又其次トス幅尺餘長三丈
ヨリ五六丈ニ至ル者アリ是ヲ大昆布ト云又其次トス其他生スル處ノ
地ニヨリ善惡差等アリ東部ノ志苔 海帶 「ホソメ」昆 二ノミ 厚岸土言「ナ
浦河三石等ヨリ出ス者ヲ名産トス 布ノ一種

菜 「トサカ」石花菜 「トコロテ」紫菜 「アサクサノリ」岩ニ懸レ 鹿角菜 「フ
リ」東海岸 ニ多シ

礦物 政治部採 鑛ニ出ス

